養殖部

淺草海苔養殖試驗

爲め所期の成績を耿むること能はざりき。 も成績良好なりし一ヶ所を選定し淺草海苔に關する各種條件及集約的養殖に關する經濟關係に就き試驗せんとする計畵なりしも未曾有の不作の 趣 旨 本試驗は前年度よりの繼續事業にして、鹿兒島灣内數ケ所に於て試驗施行の結果相當の成績を收め得たるを以て、本年度は其の中最

試驗場所

姶良郡東國分村 水戶川尻

築材料及築建方法

篊は當地方に於て最も安價に購入し得らる、俗稱『こさんだけ』を使用せり。

滿潮時の水而を一致せしめ杭の上部に横に長さ三間の同杉材を水平に横へ、之に一尺間隔に竹錬を墾下し葉の浮動を除ぐ爲各篊の中央部を水平 **篊建方法は在來法ミ埀下式法とを併用試驗せり。埀下の方法は徑三寸長二間の杉材と三間の間隔に滿潮時水深一尋半の海中に打込み杭の頂部を** に棕梠繩を以て連結し左右の柱に緊縛せり。

篊 建 時 期

	į	
	,	所
至十月二十四日	月日日	第
-,	本	_
五九二本	數	
一, 二, 二, 元, 五,	水溫比重	
至自十十一	月	
月二十三日	B	第
-,	本	=
四一本	數	
一、〇一八、七	水溫比重	П

備考

墾下式は第一回建込の際七二本を設置せり。水溫比重は築建期間の正午觀測を平均せり。面積概算一八○二坪なり、

四八

篊建粗密及篊竹傾斜方法

昨年度の試験結果に依るに築建の粗密及鋲の傾斜方向は海苔の附着及成長度に著しき關係を有せざるにより今回は間隔二尺傾斜は一樣に海岸に 向け約四十五度傾斜せしめたり。

經 過 概 要

ラズ前回ト異狀ナク終ニ採取スルニ至	一,011至九	15.0	四ノモノハ終ニ附着セズ9一回ノモノハ前回ト異狀ナシ第二	170量 回第	1111-2	二 月 二十七日
シ沿岸部第一回建込箕ト殆ド相違ナ	1、01八八五、五、五、五、五、五、五、五、五、五、五、五、五、五、五、五、五、五、五	10,	/シ 智川ニシテ採取セズ第二回簇ハ異狀 四族ハ最大五種ニ成長セルモ附	1、0宝元 ナ着第	10′1	二月十二日
極ノテ少シ海苔全長平均四種ナリあをのりハ], CHE-F	10.0	新ニ附着セルモノ極メテ少シ一回鉱海苔ハ約二種大ニ成長	一、○五五五	^ <u></u>	二月二日
メテ粗ナリ平均二、五糎ニ成長セルモ附着極	1.0111	ᅋ	均ノ海苔附着セリ の の の の の の の の の の の の	1、01)三 平第	四 、	一 月 二十六日
二種平均ノ海苔附着セリ	1.0110	35.	附着物少シ	170元 二極	#.	一月十八日
前回ト異狀ナシ	1,0元	1.01	ノよごれヲ見ル 海苔胞子ヲ見メ第二回建築ニハ多少	1,010,0 海	カ カ	一月九日
ををのりは比較的少シ。よごれ附着スルモ胞子ヲ見ズ	1、01公元	= , ,	2二回建込ノモノニ異狀ナシのをのりノミニテ海苔胞子ヲ見ズ	1、01英文第あ	=======================================	十二月二十六日
前回ノ調査時ト異狀ナシ	I H.	五一	2一回建筑ニ少量ノあをのり附着セ	1、0元リ第	1 5. C	十二月 十 五日
り沿岸部ノ狭ト同僚によごれ附着セー	1、01元七	٥.٩ ز	紀二回ノモノニハ全然附着物ナシ東一回建込ノモノニ多少よごれ附着	一、000三 第	云 、2	十二月一日
記事	水溫比重	氣溫	記事	水溫比重一	氣溫	ā
郵 下	冲		戶川尻	水		期 查 月 日

本年度は附着極めて粗にして、例年に比し成長度も亦遲く終に採取製造するに至らず。尚三月上旬鹿兒島灣奥部一帶に極めて濃厚なる赤潮發生

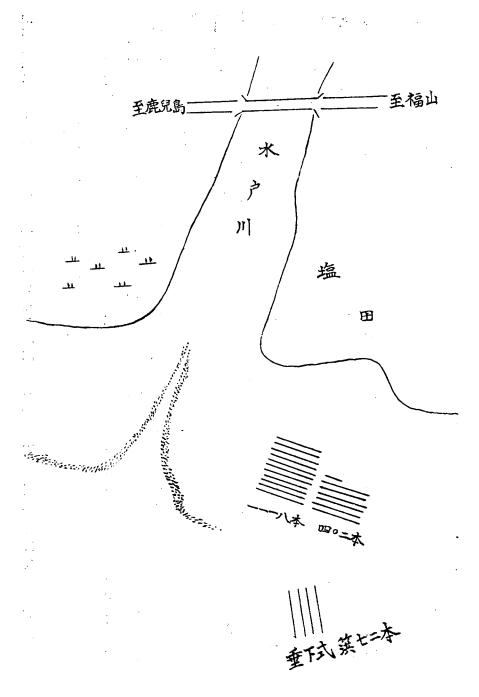
し(海水一3中二五〇 ― 三〇〇の夜光中を存す)一週間にして消滅したるも爾後は海苔に悪影響を及ぼし色澤變化し枯死し、り。

本年度淺草海苔不況に就て

年春期の海苔胞子に悪影響を及ぼせる結果、同年秋期の海苔競芽を不良ならしたるものなるべし。 期間の六十八日、昭和七年の六十七日、昭和六年の六十七日に比し殆ど半數以下にして甚しき旱魃なりし爲從つて灣與部の海况に異狀を呈し同 昭和九年度に於ては、例年に比し降水日數極めて少く、特に五月より八月に全る四ヶ月間の降水日數は僅かに三十三日にして之を昭和八年の仝

降水日數及降水量比較表

11111	六 <u>七</u>	一五大、五		六七	九九七、六	六八八	类0、	1 1	計	合
10元、五	<u>-</u>	0.0(()		110	四川七、四			Æ.	月	八
五四 四	=]i	臺七、△			10%,0		七、七	ħ	Л	七
25 	<u>一</u> 八	四人七、四		一七	三五、九	六	ı,00;1		月	六
二次(<u>,</u> ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	=	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		一 九	154, 3	五五	[图]、<	八	月	五
量(耗)	數	(耗)	量	日 数	量 (耗)	日 数	量(耗)	日數	别	月
六年	昭和		七年	昭和	八年	昭和	九年	昭和	年度	_/



鱒 增 殖 試 験

、 趣 旨

の増殖には極めて好適なるにより内水面利用開發の目的を以て霧島國立公園協會と提携し霧島榮ノ尾北方山中に孵化兼飼育池を新設し農林省よ 本縣主要河川たる新川は其の水源を霧島山中に發し、最上流部附近に於ては當時水溫低く且つ清冽にして『あぶらめ』以外は殆ど棲息せず鱒族 米國產河鎮卵五萬粒の無償交付を受け之が孵化放流試驗を實施せり。

一解化飼育地に構造

孵化池兼飼育池

池の構造は長さ四周巾一間深さ三尺の長方形とし面積四坪弱のものを二個平行して設置す。 ト」製とす。尙池の表面は總で板屋根を以て覆ひ、落葉及害敵を豫防す。 側壁及池底は何れも厚さ四寸の鐵筋 **『コンクリー**

小路工事

取水口は池より十八間上流の榮ノ尾川の溪流とし完全なる塵埃除けを設け、之より未口三寸五分以上の孟棕竹を使用して導水し取水口より三間 下流及池より二間上流に各一個宛の木製水槽を設け、塵埃及浮泥の除去に備ふ。

三、輸送經過並に收容成績概要

昭和十年一月十八日午後十一時三十八分横濱驛發下關行急行列車に積込み、翌日午後九時下開着碎氷補充の上午后十時門司驛發二十日午前七時 めて動搖を避け、九時四十分霧島榮ノ尾に到着せり。所要時間二時間十分とす。 分鹿兒島驛肴、直に開蓋して運搬器を傚するに器中を檢するに器中異狀を認めざるに依り直に自動車に移し、七時三十分鹿兒島驛出發途中努

冷却せる水を造り如露を以て水を注ぎ漸次孵化池水溫三度五分に馴れしめ卵を洗滌し午後一時收容を了せり。 之より人肩により孵化塲に運搬し十時より收容を開始せり。孵化塲到着時氣淵零下一度五分運搬器内溫度〇、 五度なりしを以て強め二、〇度に

到着成績左の如し。

导言直式潋

三三、五〇〇粒	111%	一六、五〇〇粒	五〇、〇〇〇粒
生存卵数	卵率	到着死卵數	收容卵數

四 孵 化 成 績 槪 要

孵化收容後檢卵を行ひ經過を注意して觀測せるに概要左の如し。

孵化終了月日孵化開始月日 二月二十六日}三十日間

	111111111111111111111111111111111111111	100	11111, 000	計
	1111, 1100	1	IN. 1100	至二 月二十八日
	1110, 000	1	- 1 1 000	全二月二十日
	五、〇〇〇	100	五、〇〇〇	ーー 月月 十一
死卵二〇〇粒トス	- 〇 〇尾	尾	· 〇 〇尾	至一月二十一日
備	孵化魚現在數	斃 死 尾 数	解 化 尾 数	

孵化學 九九、四%

五、浮立後の飼育成績概要

前述の如く孵化に相當の運速ありたるを以て、浮立に於ても前後し投餌上に少からざる困難を生じたりしも、六月上旬未曾有の降雨ありたる迄 は、比較的顧調に成育し斃死も亦尠く放流も六月上旬に於て施行の豫定なりし處降雨の爲河水增水混溷し終に七月に放流の止むなきに至りたり

浮立開始月日 浮立終了月日

三月十六日

四月八日

二月二十八日現在解化尾數は三三、二〇〇尾にして其後の成育狀况は左表の如し。

	キロノームス、糸ミヽズ	元,至00	M-400	1. 关0	1、九四〇	計
	ロノームス、	1元、五〇〇	1			九一
	ロノームー	□h.,¥00	MOC	1100	1	至六月 三 十日
	ノームへ、	11. へ 00	100	100		至六 月 二十日
此ノ期間ニ降雨多シ		三九、九〇〇	1100	100		+-
	ノームス、	MO-100		ľ		至五月三十一日
		MO' 100		1		至五 月 二十日
	全 10、1二五,	100	. 1	i	_	全五 月 十 日 日
	全 10、二五,	190-100)11lo	11110	1_	→ +
	全 七00/	o'm'o'm	100	1100	1_	至四 月 二十日
此ノ期間降雨多シ	全 五〇〇/	高い、大元	☆	<u> </u>		+-
	全 三00/	18	1、11元0	10	1,1140	
	牛生肝臓 二〇〇瓦	X O	11110	1 13	21.5	月月 二十 十
	I		1100	1	11.00	至三 月 十日
		1	合計	浮立後	浮立前	
備 参	餌	学立現在數	數	死尾	斃	

六、放 流 成 績 槪 要

七月上旬に至りて天候漸く回復したるを以て、七月九日午前取揚網生洲に蓄養し翌十日、十一日の兩日に亘りて之を左記箇所に放流せり(圖面

一、鹽浸川上流カチキワタリ

放流尾數 二〇、〇〇〇尾

七月十日午前六時十分孵化塲出發

氣淵 二〇度三分

池水淵 一三度六分

午前八時二十分放流 氣溫 一九度八分 河水溫 一二度三分

尙途中七時三十分換水せるに當時の氣溫二〇度三分 溪流水淵一三度六分 魚槽淵一五度三分なり。 運搬は人夫四名の人肩を使用し水桶八個に收容し凍氷を使用せざりしも、經過極めて良好にして何等の支障なく放流を了せり。

二、霧島川上流兩瀧

放流尾數 七、八〇〇尾

七月十日午前六時二十分解化塲出發 氣溫 二〇度三分 池水淵 一三度六分

午前八時十分 放流

氣溫 二三度五分 河水溫 一四度

午前七時及七時三十五分の二回に亘り途中換水せり。輸送中は極めて良好にして人夫三名を使用し凍氷を使用せず。

三、大浪 池

放流尾數 一、〇〇〇尾

七月十一日午前六時出發 氣淵 一九度〇 池水溫 一五度五分

午前八時放流 氣溫 二二度五分 池水淵 二一度〇

仝

途中一回換水せるも當時の溪流水淵一五度〇魚槽淵一六度〇にして、途中極めて成績良好にして大浪池水淵は多少高き感ありしも放流魚は極

めて元氣に深部に向つて游泳せり。

四、榮ノ尾川

放流尾數 五〇〇尾

七月十一日午前十時出發 氣溫 二一度五分 池水淵 一五度五分 **静自直式** 象

之を旬別として表示すれば次の如し。

右五○○尾の内榮の尾離上流に三○○尾仝下流に二○○尾を放流せり。 午前八時放流 氣溫 二一度五分 河水淵 一五度五分 槽溫一六度()

右總計二九、三○○尾にして二○○尾は池内に残し後日の参考に供したり。

七、放流魚の 体形

									Ī
	五、六	均	平					_	
	1 1 11 1	計	合	一、 八		五. 〇		0	_
		0	=	二、七				ι 九	
	五, 〇	九 ——		一,		•		八	
	五,	八	_	一、 八				七	
	五二	七	_			五 、九		六	
	六、三	六 	_	一、 九		五、三		五	
	六二	Fi.	_					四	
	· 五,	四		一 、 九				Ξ	
	五,	Ξ	_	=;	-	六七		=	
	五、 五糎	=	_	u Ob		七、一糎		-	
	全長	號	番	重	体	長	全	號	番
- 1		-							

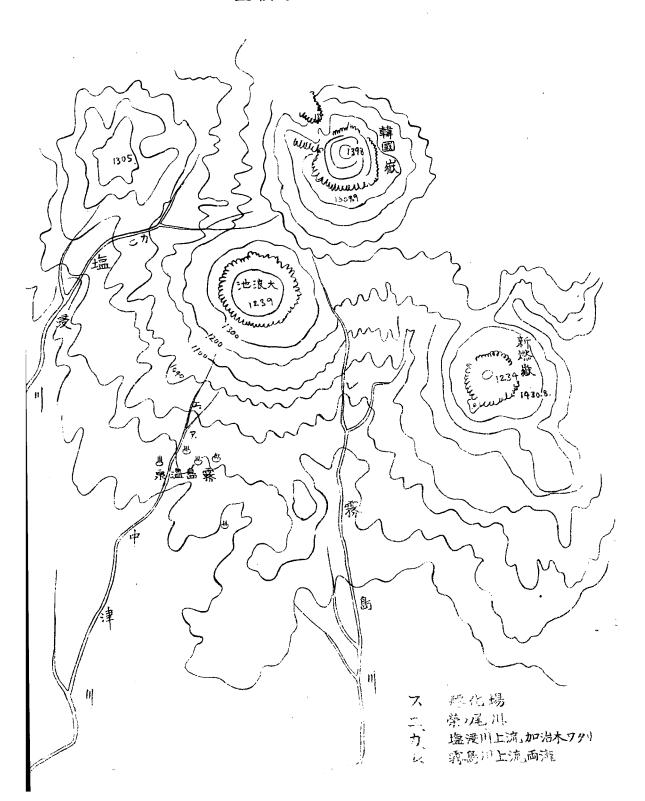
試験期間中氣溫、水溫は毎日午前十時及午后二時の二回觀測せり。 八、觀 測 表

	三、八	二二、八	五、二	七.四	三、五	0	至 六 月三十日
	三七	一 二 九	一 五 三	一七、一	三、八	= ;	至六 月 二十日
雨期ニ入ル	- E, -	1 H. O		一七、四	二 元	三 ○ 五	+-
	二:、七	111,0	- 六、O	一六、二	1四, 0	0,1111	至五 月 三十日
	=,		<u> </u>	四 四	1 = 0	三 〇 五	二十 十一
	-	八 五	<u> </u>	四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四	四、七	0.111	+
	一 八	九.	四, 0	1 , 11	九 〇	10,0	++
		九 〇	二 二 五	九,	四五	一 四 五	_+ +~
	九二二	六、五	四、五	九 六	六〇	一六, 0	+-
	八、 五	七〇	10°0	- O. 四	五五	111.0	++
	八 三	<u> </u>	0.11	一〇,四	四、五	七、五	至三 月 二十日
	六二	四 〇	九 〇	五,	(一) (一)	一四, 〇	月月
	七、五	四 五	九 五		-, 0_	一 元 〇	至二月二十八日
·	五 二	三 五	六 <u>五</u>	五五	(-)	七、五	至二月 二十日
	五、 五.	三、 五	七、五	三、六	= (-)	八〇	至二月 十日
•	四、二	三五	五 <u></u>	-, 	(一)七、0	八〇	全一月三十一日
	平均	最低一	最高	平均	最低	最高	
	溫		水	溫		氣	月日

体 放 重 元 せ ー	五 に成 し 成 長 れ 、 八	尙飼育池内に試用として殘せるものは仝日の調査に依るに全然投餌せざるも平均全長一七糎体重五	放流魚は未だ之を漁獲することを得ざりしも、昭和十一年一月十五日榮ノ尾川瀧上、下流に放流せ	九、放流後の成績	平 均 一六、大 五、六 一、七 二二、一 八、三	至七月 九日 11日、一 1、二九 1七、八 1五、一 1二、八 1自七月 一日
	体重五瓦に九、九、九、九、九、九、九、九、九、九、九、九、九、九、九、九、九、九、九、	全長一七	瀧上、下流		八、二	

賻 增殖 場 附 近 圖

五萬分,一



增 殖 部

增殖 事業

水産増殖契勵規則に基き國庫補助を受け昭和九年度より鮎增殖事業並に龍蝦増殖事業を施行せり其の槪要左の如し。

鮎增殖事業

の放流を行ひ河川漁業者の福利增進の一助となさんが爲め本事業を施行せり。 物増加し從來鮎の棲息多かりし流域にして現在は該魚族の影を絶ちし所も尠からざる狀態なるを以て斯の如く荒廢に歸したる水面を利用し小鮎 趣 旨 本縣に於ける鮎は鯉鰻と共に河川に於ける三大重要魚族の一なるも近來水力電氣事業の發達及灌漑事業の普及の爲め堰堤其の他工作

方 んど鮎の棲息を見ざる左記河川に放流し猶ほ五月占日川内川上流漁業組合をして試驗的に本縣池田湖産小鮎|萬尾を川内川上流に放流せしめたり 法 滋賀縣琶琶湖産小鮎二萬六千尾を米原驛より隼人驛迄鐵道により輸送し同驛より自動車に依り堰堤並に瀑布等の障碍物に依り從來殆

琵琶湖產小鮎放流箇所其,他

							ŀ		11⊀∵000				計
十分十一時三	雨	小	也	七	0	10,	シ	ナ	- III. 000 + »	川内川上流	羽月橋下流伊佐郡羽月村	, 一 日	五月十
時觀測午前十一	雨	小	`度 <u>七</u>	一七、度七	`,度 	ō	シ	t	三、〇〇〇	村霧島川田	口橋下流	日	五月十
備考	」	天	淵ノ	水河	温流	氣 放	魚	死	放流尾數	個所	放流	月 日 ———	放流

池田湖産小鮎放流個所其ノ他

			1					10,000				計
分午全 行后三時廿五	仝		10	0	四	シ	ナ	五、000	池田橋下流	(川內川上流)	日	五月十 四
分午 観測時 出五	晴	`度 <u>五</u>	111	,度 		シ	ナ	五、〇〇〇	川內川上流	栗野橋下流	B	五月十 四
備	天候	溫	水川	溜 流	氣放	魚	死	放流尾數	断	放流	H H	放 流

度乃至十四度に保ち運搬せり水淵低下のため使用せし氷は一一二貫なり池田湖産小鮎は平均体長八糎体重二瓦なり。 **溫一七度に氣溫一五度二にして自動車魚槽の水溫の急激なる變化を避くるため小鮎を魚槽に積込後氷を投入し徐々に低下せしめつ。水溫を十三** 池田湖産小鮎は地曳網にて漁獲せしものを二日間蓄養し約一万尾を自動車に塔積し約八時間半にて放流現塲に到着せり。積込當日の池田湖の水 せり放流塲所は水流緩なる個所を選び少數宛小桶を使用して丁重に放流せり放流當時の体長平均九糎四体重五瓦になり。 に一萬三千尾を塔載し放流現場に向ふ所要時間一時間乃至三時間にして水溫低下のため使用せし氷量は霧島川にて三二貫羽月川にて四八貫を要 自動車魚槽(縦二尺五寸横四尺五寸高さ三尺の帆布製)の水淵一八度なりしを氷にて水淵を一三度に保つ、一臺(魚槽二個一個に六千尾内外) 琵琶湖産小鮎は五月八日午後八時米原驛遼同十一日午前九時四十五分鹿兒島縣姶良郡隼人驛考活魚車魚槽水溫は一五度三運搬用

の成長も良好にして放流後一一八日を經過したるもの最大体長二二糎七体高五糎三体重二二瓦八の成長をみたり。 体長に於て約一七倍乃至三倍に成長せり。又放流後一一八日間を經過せるものは最大体重一五九瓦六体長二九糎四に成長せり。又池田湖産小鮎 放流魚の成長度漁獲等に就き調査せしに成長は概して良好にして放流後三十八日間を經過せるものは体重に於て約七倍乃全一〇倍に

獲あり新川上流霧島川に於ては約五、二〇〇尾にして四割の漁獲あり。 くならざる憾あり川内川上流にありては琵琶湖産及池田湖産合計約放流尾數二三、○○○尾に對し其の漁獲約一○、○○○尾にして四割强の漁 本年度は未曾有の大旱魃に際會せるため用水路及發電所水路等に逃入せるもの料當多量に上りたるもの、如く又釣魚技術未熟のため漁獲意の如

猶ほ池田湖小鮨に關しては其の採集方法畜營方法産卵塲の保獲及人工産卵床の新設等に就ても研究調査を進めつゝあり。

日 日																					
日			仝	仝	月						仝	소			仝	仝	仝	仝			月
大		=		+	五	八	Ξ	=	=	+	+	五		七	Ξ	=	=	+			
大	五	+		_			+	五五	+	五			_		+	五	+	五			н
(株) 風 (山 風 力) (H	日	H —	<u>н</u>	H 	月	H —	H ——	H ———		H ——		日 ——	月	H		片 	 	 	_	
株	發	ह्य	Ą	仐	疉		曼	仝	仐	晴	橙	A	暗		脳	仝	仐	曇	睶	天	
(位 風 カ) 氣 溫 水		11				平														候	氣
無力		東	西	洒			仝	卆	西	北	4		東		ग्ध	令	西		两	風	
無温 水 温	東		南	-	南	均			南	東	L,	南					南	東		位	
無温 水 温	=	29	=	_	· Ξ		Л	八	八	0	DQ.		-:		=	202	=	=	Ξ	風	象
 滞 水 						•														カ	
R																				;	氣
R	量	===	훙	吴	吴	90,	竞	픙	픙	훙	픙	Ħ	픙	沅、	二元	芜	完	荒	중	;	溫
中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中	<u>o</u>	^	ŦĹ.	Ŧ .	E	<u> </u>	五	0	ᄎ	- 11	H .	≖(#	8	0	0	75.	<u>o</u>	五度		
中中中央																				沿	水
中中中央	丟	n¥.	7	=	灵	10°	=	灵	Ħ.	를	≡	₹.	<u>e</u>	를 -	EO.	중	를	元	<u>9</u>	岸	
中 中 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	9_	1	<u>≢.</u>	<u> </u>	_0_	ő	391	35.	_=_		_7£	<u>₹í</u>	38.	Ö		<u>o</u>	. 1	<u></u>	C度		
下 東 東 東 東 東 東 東 東 東																				中	
下 東 東 東 東 東 東 東 東 東	₩,), dil	큿	1147	7	10° 4	io,	7	₹	10	<u>=</u>	昌	<u>=</u>	元、五	元	汞、	7,	츳	岩鹿	央	湖
分 宛 滅 ・水 ス 寸 水	41.				<i>7</i> L	_0	<u>.</u>	0	_0_			_=_	<u> 1484.</u>	<u> Λπ</u>		<u>0</u>	_^_	_=_	34.132		雨
分 宛 滅 ・水 ス 寸 水				_																	
分 宛 滅 ・水 ス 寸 水	7	0.改	二十二	0.15	슬 슬														辉		量
分 宛 滅 ・水 ス 寸 水	0,17	O. #	1.50	1	174						仝	仝	日日			_				-	
寸水	303	æ	or:	x	水								三分							,	曾
寸水													宛减								
												•	水ス							} }	贼
A																			寸	,	水
																			Δ.		

	111711	15, 3	10.4	Ξ	全	소		仝
	かった	10.0	11170	=	仝	曇	二十五日	소
	元、三	九,五	7.7	=	仝	仝	二 十 日	仝
	六、四	六、元	デ 、三	Ξ	소	仝	十 五 日	仝
	考	天'三	九、五	Ξ	소	仝	+ B	仝
		면	=======================================	Ξ	北東	晴	五日	+=
	第0、7.1	17、吴	一		华均	月		
	[天] [天]	14.5	11.11	. Þ		ş	三 十 日	仝
	14.5	五七、五	0.41	19 :	2 : :	& 3	十五日	仝
	中七	14.0	12-11	= :	全 ·	全月	二 十 日	仝
	14.0	<u>~</u>	二六、五	= :	全 〕	馬	五日	仝
	7.7	**	#, ==	1 3	東		日日	仝
	111.0	=======================================	无人	≣.	ド	庤	五. 日	+
	三三	110. 大字	三、実		7 平 均	45	+	_
	111.0	1117 111	110,11	Ξ	仝	仝	三十日	仝
	10.4	=:=	14.II		仝	仝	二十兆日	仝
	= = =	三 . <u> </u>	= ,=	=	北東	晴	二十日	소
	X	11次一四	1)#,0		西	嵏	十五日	仝
1三年、0三、六仝	云, C	₹ <u>`</u> =	三四、五	Ξ	仝	晴	日	仝
IC、COTIN増水	言、二	III.O	= =	Ξ	北東	雨	五日	+
-	三七、三五	15.41	记、量		均	平	九月	
1一量、0世、天全	تاريخ ج	三七九	一宝、人		全	晴	三十日	仝
1三五、0月、六〇土	こも、六	三七、九	冠、公	-	仝	晴		三十月

全 北 10 <td< th=""><th>1111、00、4分</th><th>14.0</th><th>14-11</th><th>五、大</th><th>=</th><th>1</th><th>雨</th><th>三十日</th><th>仝</th></td<>	1111、00、4分	14.0	14-11	五、大	=	1	雨	三十日	仝
11 11 12 12 12 12 12 12	元、00、人会	E H	四六	15,7	Ξ	北東	仝	二十五日	仝
11	弄、CII、II增水	四 、三	四天	七七年	Ξ	仝	仝	二 † 用	
12 15/五 12/0 15/4 14/5			10°	٥.4١	Ξ	소	睛	十 五 日	
11 10 10 10 10 10 10 10		29 29	西	~ <u>~</u>	Ξ	西南	仝	日日	
11		三 三	M.	北へへ	三	소	仝	五.	仝
12 15/五 10/0 15/0		0.41	11-41	一五、六	Ξ	西北		月一日	
11		三、六六	三三 公	三、公三		均	平	二月	
11 15 15 15 15 15 15 15		天、七	0.41	三五、九	Ξ	西南	啨	三 十 日	仝
11		=,~	117,71	=,=	Ξ	소	曇	二十五日	仝
1三 1三 1四 1四 0 1三 1三 1三 1三 1三 1三 1三	二二、0四、六增水	= 7.	0.41	111.0	Ξ	北東	雨	二 十 日	仝
12 12 12 12 12 12 12 12		三元	0.41	0.#I	Ξ	소	晴	十 五 日	仝
12 12 12 12 12 12 12 12		1 E 0	[]	= 7	Ξ	西北	嘦	日日	仝
中 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		117.7	0,111	三 三 、 へ	Ξ	北東	晴	五日	
全 1三 1二 1元、東 1二 1元、東 1二 1元、東 1二 1元、東 1二 1二、八 1二 1二、八<	-		四、七三	13,04		均	平	一月	
全 1三 1二 1二 12 12 13 12 14 12 15 12 15 12 15 12 15 12 15 12 15 12 15 12 16 12 17 12 15 12 15 12 15 12 15 12 16 12 17 12 17 12 17 12 17		= 17	H H	0.111	Ξ	全	仝	三 十 日	仝
東 三 七、五 12、五 12、0 14、0 14、7 11、7		三三三	13、大	=,	Ξ	<u>소</u>	仝	二十五日	仝
北 二 15、東 15、0 14、0		111.4	=, ^	セ、ハ	Ξ		晴	二 十 日	仝
全 三 三 三六五 三七五		一天	0.के.	一大、四	Ξ		靈	十 五 日	仝
北三三三三三		一七二三	七、五	二六、五	Ξ	<u>소</u>	仝	十日	仝
	•	=,^	0.3	H . H	Ξ	東北	晴	月 五 日	
均 [四二萬 [萬'〇三 [四'〈六		四、公	1 4, 011	四、宝		平均	月	+=	

			少	1关、0	吴三	H. 100	清	=	Ħ	瞒	B	月十	+
盘	卵	產		中溫央	沿 水 岸 -	氣流	湯湯	風 カ	風	天候氣	Ħ		月
										他ノ湖岸	及其	(二) 尾下川附近及其他) 尾下
	y	里ニテ終り	少量ニ	14.41	14.0	1.1.1	소	=	仝	全	A	= +	仝
		量	少	الار0	スニ	一大、五	全		仝	睛	日	十 五	仝
			仝	ス、ニ	一八、五	¥,	소	=	仝	皇	Ħ	+	仝
		水减少	漸次减	111.0	11 71	九八	仝	Ξ	소	仝	B	月 五	+
			仝	0.111	11.11	10,11	소	=	仝	仝	日	Ξ +	仝
			仝	110.12	1,0,4	11741	소	Ξ	仝	仝	五.	二十五	仝
		量	多	# H	==-<	= = =	소		北東	睛	H	= +	仝
			仝	吴	吴二	量,0	仝	Ξ	西	雨	日	五	仝
		少增加	漸次	美 。	关,三	<u>五</u>	全	=	소	仝	日	+	仝
		量	少	宝、发	三、大度	二、定	清	Ξ	北東	晴	日	月一	+
 	Ì	į		中央	沿 岸 一		清渴	風力	風位	天候			
	jp	產		温	水	風	象			氣	Ħ		月

仝

+

Æ. 日

雨

西

三

仝

三三漸次增加

池田湖小鮎產卵調査

(一)永

吉

Ш

附

近

Ξ

月

平

均

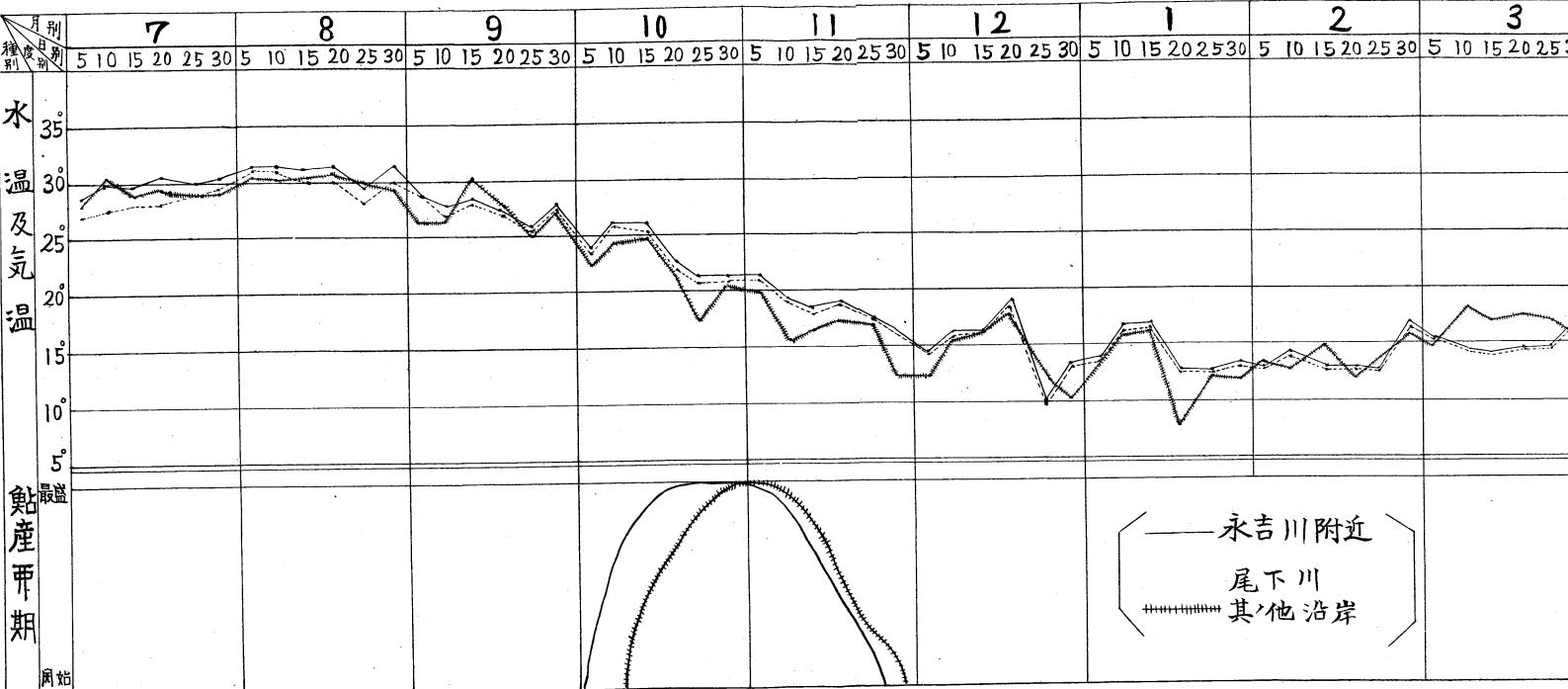
五、大

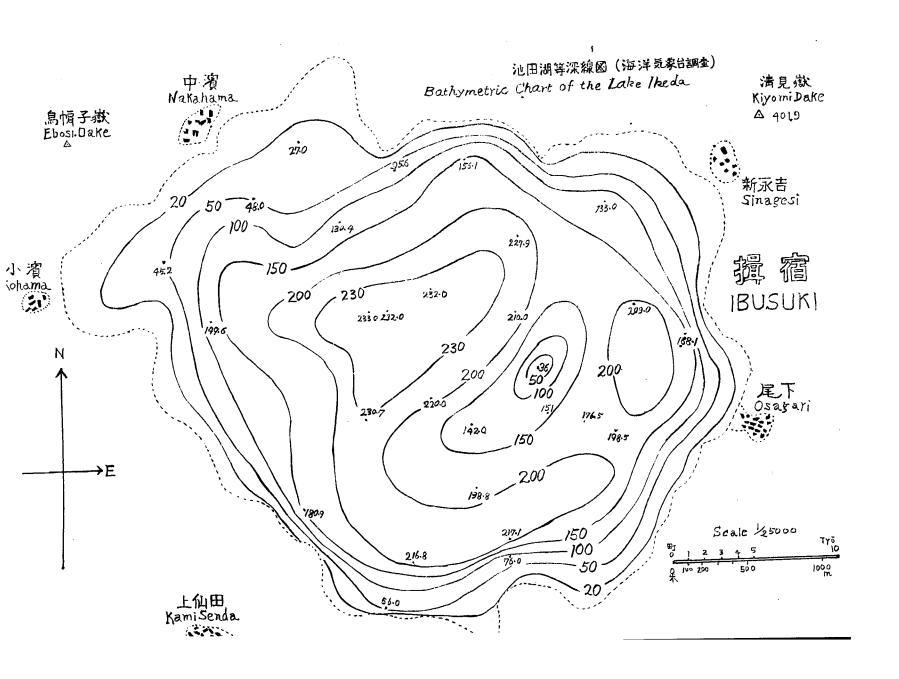
五

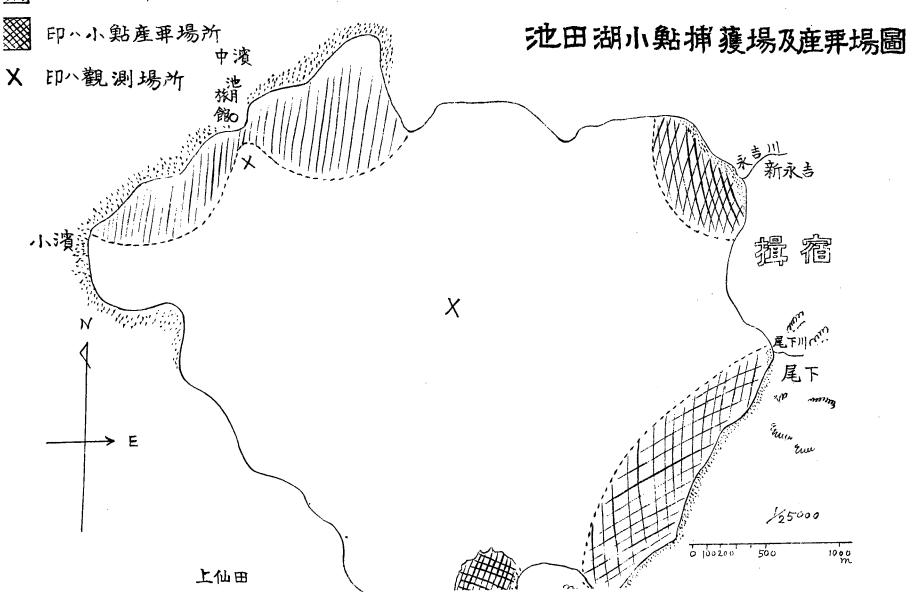
H,

觀測ハ午前十時トス

소 소 소 소 소 소 소 소 十 五 = + 日 日日日 曇 仝 晴 曇 仝 仝 仝 晴 全 全 全 全 全 全 東 全 全 全 全 全 全 全







龍 蝦 增 殖 事 業

、く隨つて價格比較的高價なるが爲めに漂獲の弊に陷り易く漁獲高は最近激減の傾向あるのみならず其の体形も漸次縮少しつ、ある狀態なるを以 趣 て之が積極的方法を講じ該族の增殖を計らんがため本事業を施行せり。 日日 縣下に於ける龍蝦は沿岸漁物特に磯付生物中最も重要なる地位を占むると雖も移動性に乏しき智性を有するのみならず需要極めて多

方法 が増殖に努めつ、あり。 管理並に監視等に就ては地元漁業組合及青年團と協調して之に當り又地元漁業組合及町村に於ても龍蝦增殖費として相當の豫算を計上し鋭意之 貫匁の親蝦を放養して稚蝦の蕃殖育成を助長し以て龍蝦の墳産を闘らんとするものにて解禁後は採捕の統制をなし漁利の永續を期するものとす 縣下に於て龍巘増殖塲として最も適當なる數ケ所を選び地元漁業組合と協調して蕩三ヶ年間一切龍蝦の採捕を禁し之に毎年四、五百

昭和九年度に實施せる箇所は左の如し

- 一、揖宿郡顯年村川 虎地先一、肝屬郡佐多村大 泊地先一、肝屬郡佐多村大 泊地先一、熊毛郡西之妻町尪 里 崎地先

龍蝦 放流個所其 ノ他

				1	
	仝	仝	<i>T</i> i.		放
計	4.	+	月		流
61	八	Ш	八		月
	В	H	日		Ħ
	揖宿郡頴娃	肝屬郡佐多	熊毛郡西之		—— 放
	村川	村伊	表町	 	菱
	尻、石垣	座敷大泊	馬毛島花	,	固
	地先	地先	里崎地先		所
E 1			-	3	放養尾敷
三,01年	大〇	<u>^</u>	聖尾	-	•X
					斃
					死
				Ì	敷
	=	^	河尾	_	
1 255~ COC	K0.000	M. 000	四八000		增殖水面積
	_	•		氣	
			``	3123	放
	90	1110	宮度	溫	養
				水	_
	풇	1140	三方度	滯	塲

親蝦購入先及放養數

親蝦は縣下熊毛郡種子島東海岸に於て捕獲せしものを熊毛郡西之表町三ケ浦漁業組合より購入し三一二貫七六〇匁(一尾一〇〇匁内外)を前記

三箇所に放養せり。

三、結果(初年度にて其の結果未だ詳ならざるも九月十六日より同月二十日迄本塲太田一等濬水士及川崎潜水士の潜水に依り増殖場に於ける潜

水調査を施行したる結果及當業者の言等を綜合考察するに相當多量の稚蝦蕃殖しつゝあるものの如し。

两查及講習指導

海 洋 觀 測

行せりい 趣 旨 **木調査は海洋の性狀を究明し以て魚族の移動洄遊並に豐凶豫察の研究資料に供せんとするものにして前年に継承 - 次の三部に分け施**

、横斷觀測(開聞岬より屋久島永田岬を経て奄美大島笠利崎に至る間各十浬間隔並橫當島西百尋線間各十五浬間隔

二、沿岸橫斷觀測

三、鹿兒島灣內定點觀測

一、橫斷觀測概要

海况を究明するは此等漁况の豫察其の他よりして最も重要なり依而前年に繼承し各線縣連絡施行せり。 **嶐南海區は本邦黑潮通過の最尖端にして本縣鰹鮪鯖飛魚等各種漁業の主要漁場たり就中鰹は本邦鰹漁業の前哨線とも云ふ可し、** 隨而本海區の

其の結果次の如し。

月分

二月十八日十九日施行す。

開聞屋久島間

表面水溫一六、九度下層一五、七度(差一度二分)に始り以南表面一八、〇度下層一六、五度差一、五度にして南北の差表面二一度下層〇、

八度なり。

一八度水帶は前年より縮少するも槪略前年と大差なし。

屋久島大島間

永田岬表面一七、七度下層此れより一度二分低く最南表面一九度六分下層一九度六分差なし。

最高點は永田岬南四〇浬點にして表面二一、五度下層二〇度五分差一度なり。

萝牟見明

二十一度以上水帶は表面流幅五十浬下層(一五〇米)十浬にして楔狀をなし前年に比し約三〇浬北に扁じ黑潮北移を示す比重は最高二六、四

三最低二五、三六なるも概ね二六、〇〇內外にして七島近海は二六、〇〇を越わ屋久島北部は之を出ず。 前年は二六、〇〇以上北部に以下は南部にありて本年とは其の配置相反するも寧ろ本年は常態なりと見る可し。

三月分

二十日二十三日施行

開聞岬屋久島間

表面一四度八分下層此れより○.八度低き一四度に始り表而一七度七分下層一六度五分(差一度二分)に終る南北の差表面三度下層二度五分

ありて前月よりも約三倍の勾配を示す前年に比し一度低し。

比重中層以下二五、八〇以上上層二五、八〇以下二五、七〇迄とす。

屋久島大島間

永田蜱表面一八度三分下層一六度三分(差二度)にして最低なり最南點表面二〇度五分下層一九度五分(差一度)にして最高点は永田岬以南

五十浬にありて表面二一度二分下層二〇度六分(差〇、八度)なり。

最高最低の差表而約三度下層四度三分なり前年に比し本年の二一度水帶は流幅約十五浬深さ五十米にして幅に於ては約三分一縮少せるも十浬

北に寄れり本年は二二度水帶末だ全く現れず一度以上低溫なり。

比重二六、○○水帶は環狀の小塊をなして永田崎より南六○浬点の上層一○○浬点の上層にあり叉七○浬点低層に少しく頭角を現はして下層

に高鹹水の存在を暗示せるのみにて大部分は二五、七〇以上二六、〇〇以下あり。

横當島四百尋線間

横當島西八○浬点に二二度あり其れより以東一五度に二一度あり外は全部二○度以上なり。

比重は「二五、八〇乃至二六、〇〇以下にして二六、〇〇以上は一五〇米以下に現る。

五月分

五月十七日十八日間施行

開聞屋久島間

し一度五分乃全二度増加す二○度線は開聞上層より屋久島下層に至り對角線狀に斜走し其の五○米上層に二二度水帶此に平行に斜走す前年に 表面二○度七分に始り二二度七分に終る差二度下層一六度三分に始り一八度に終る差一度七分上下の差兩点共略四度五分內外にして三月に比

比し一般に二度高温なり。

比重は大部分二五、九〇内外なり。

屋久島大島問

狀に深く存在せす黑潮南移を認む一般に上層に於て一度前年より低く中層に於て二度内外低く前年の二三度線と本年の二一度線一致す比重は 部一度九分共開最高点は永田岬より一○○浬南にありて表面二四度三分下層二二度五分にして表面水溫の勾配二度三分下層水溫の勾配二度五 大部分二六、〇〇以下にして最低二五、四一なり。 分あり二四度水帶は前年より三○浬南に扁在し尾久島より南七十浬点に始り流幅三五浬深さ二十五米内外の薄き層を爲して流れ前年の如く楔 表面水溫二二度八分に始り二三度六分に終り南北の差〇、八度下層は一九度に始り二一度七分に終る南北差二度七分上下の差北部三度八分南

八月の

八月四日六日の間施行

開開屋久島間

平行し開聞南十浬点は上層より一○○米開に於水溫匃配二○度以上七度の差を生ず。 依る上下層水溫の匃配北部一○度五分南部八度五分あり二七度線は開聞+浬点の上層より四十浬点の四十米層に斜走し各等溫線共北に做ひて 老面二七度に始り二八度八分に終る南北の差一度八分下層一六度五分に始り一九度三分に終り南北の差二度八分にして南部のみ上昇したるに

仝四十浬点に於ては一五〇米以淺の間に二〇度以上八度の差を生ず前年よりも上層は一度高く中層は二度高し。

屈久島大 島間

至五〇米間に僅かの起伏を現はしつ、畧水平に存在す二八度線は稍中間点の表面より以南に二五米内外の深さを以て分布し前年よりも約五十 度五分にして五月に比し北部は一度増し南部は三倍余増となる各等溫線共水平且平行に分布し二七度線は永田岬より南まで深さ凡そ二五米乃 表面二八度四分に始り最南二九度一分南北の差〇、七度下層二三度七分に始り最高二二度六分南北の差一度一分上下の差北部四度七分南部六

横當島西百零線間

米淺く存在す一般に約一度の低溫を示す。

横當島の表面二八度四分に始り最西二九度一分にして最高なり東西の差〇、七度下層は二〇度八分に始り最西二二、五度にして東西の差 七分なり上下の差東部七度六分西部六度六分あり二九度は六○浬以四に存在し二八咫線は表面より二五米乃至五十米の深さを以て東より西に

母羊現則

深く分布す二七度線は北より二〇米下層に於て此に平行に存在す。

比重は本観測終了後未曾有の颱風に出質し三晝夜漂流し大島より五島玉の浦に漂着し其間海水瓶を遺棄したるを以て測定せず。

十月分

九月二十九日より十月二日の間に施行す。

開聞屋久島間

三度線の位置に存在し二四度線は二〇度線に畧一致す。 にして前月に比し一度乃至一度五分下降す五十米以淺は二四度以上にて二八度線殆ど消滅せるが前月との相違なり前年の二六度線は本年の二 表面二五度三分に始り二八度一分に終了南北差二度八分下層一九度より二一度四分に終り南北差二度四分上下の差北部六度三分南部六度七分

前年は二六度以上水帶なし。

要するに上層は本年二度高く下層は四度内外低く且つ五十米以淺前年は二六度より一度の差本年は二四度より四度の差を示す。 比重は上層の二五、五○内外下層二五、八○内外なり。

屋久島大島間

かに其の深さを増し五十米以後の上層を占む前年に比し各層を通じ約一度高く前月と反對の現象を呈す。 南部三度三分 北部の差多きは下層の急降に依る、最高の二八度水帶は永田岬南二〇浬点に僅かに残存するも二七度水帶は寧ろ前月よりも遙 永田岬表面二七度三分に始り最南二七度。仝底層一八度に始り最南二三度七分 南北の差表面〇、三度下層五度七分 上下の差北部九度三分

比重は百米以深二五、八○より二六、○○内外以淺は表面以下二五、二○乃至二五、八○となり上下通例の形を示し南北は大差なし。

十二月分

十一月三十日より十二月一日の間に施行

開聞屋久島問

浸以上のものなく上層は前年より約一度以上低し下層は寧ろ高し。 表而二二度三分に始り南二二度四分南北の差殆どなし下層一七度三分に始り南一八度一分南北の差〇、八度上下の差北部五度南部四度三分前 月に比し上下の、差二度内外滅じ南北の差表面は二度五分下層は一度五分减ず五十米以淺は二二度乃至二二度四分の水帶にして前年の如く二三

座久島大島間

表而永田岬の二一度に始り最南二二度七分下層同じく一八度二分に始り二三度に至る。 南北の差表面は一度七分下層は四度八分上下の差北部二度八分南部は寧ろ下層の三分高し。

前月に比し上層は五度内外急降せるも下層は殆ど變化せず。

比重は二五、四〇乃至二五、九〇內外にして上下南北稍一樣なり。

各等溫線は斜狀を呈し來り二三度線は永田岬南四十浬以南の百米以淺に約三十浬間分布し其の以南は底層迄擴張せり。

## 接 5.20 B	" "	-	1		700	20.07	23.00	25.12	20.70	20.02] .	. J		ĺ
## 後 3.05	"	後	5.20	В		16.4 25.98	17.2 25.88				20			3	"
## 後 0.50	"	後	3.05	c	9.4 763	17.8 25.89	18.3 25.09	18.4 25.85	17.6 26.17	15.1 25.98	23	·		2	В
#	"	後	0.50	D							19	<u> </u>		0	В
## 7.50	"	前	9.45	E							17			2	В
2月18日後8.40 G 761 26.25 26.09 26.03 25.36 26.45 3 3 4 BC	"	前	7.50	F							17			6	вс
後 6.45 日 762 26.12 26.02 26.15 25.73 25.93 3 10 C 後 4.45 日 760.5 26.09 26.01 25.41 26.02 26.15 17 3 10 C 後 2.45 月 761 26.21 26.36 25.92 26.11 26.45 18 W 3 10 C 後 1.15 K 761 25.91 26.03 25.92 26.13 26.46 18 W 3 10 R 前 11.30 L 761 26.00 26.07 21.1 21.1 21.1 20.7 26.46 18 W 3 10 R 前 11.30 L 761 26.00 26.07 26.36 26.16 25.97 18 NNE 3 10 R 前 9.40 W 761 26.08 26.05 26.05 25.93 26.22 26.35 26.16 25.97 18 NNE 3 10 C 前 7.40 N 761 26.08 26.08 26.05 25.93 26.22 26.35 26.22 26.35 26.22 26.35 26.22 26.35 26.23 26.25 26.35 26.23 26.25 26.35 26.23 26.25 26.35 26.23 26.25 26.35 26.23 26.25 26.35 26.23 26.25 26.35 26.23 26.25 26.35 26.23 26.25 26.35 26.23 26.25 26.35 26.23 26.25 26.35 26.25 26.	2月18日	後	8.40	G				1						4	ВС
## 後 4.45	"	後	6.45	н		21.0 2 6.12	21.0 26.02			19.1 25.93				10	С
後 2.45 月 761 26.21 26.36 25.92 26.11 26.45 18 W 3 10 R 16.5 21.2 21.2 21.3 21.3 21.2 26.46 18 W 3 10 R 前 11.30 L 761 26.00 26.07 26.36 26.16 25.97 18 NNE W 3 10 R 前 9.40 W 761 26.00 26.05 25.93 26.22 26.35 20 20 20 8 W 10 C M 前 7.40 N 761 26.08 26.05 25.93 26.22 26.36 26.36 26.35 26.23 26.36 26.35 26.23 26.36 26.20 26.36 26.35 26.23 26.36 26.35 26.23 26.36 26.30 25.93 26.25 26.36 26.30 25.93 26.25 26.36 26.30 25.93 26.35 26.30 25.93 26.30 25.93 26.35 26.30 25.93 26.35 26.30 25.93 26.35 26.30 25.93 26.35 26.30 25.93 26.35 26.30 25.93 26.35 26.30 25.93 26.35 26.30 26.35 26.35 26.30 25.93 26.35 26.30 25.93 26.35 26.30 25.93 26.35 26.30 25.93 26.35 26.30 25.93 26.35 26.30 25.93 26.35 26.30 26.35 26.30 25.93 26.35 26.30 25.93 26.35 26.30 26.30 25.93 26.35 26.30 26.35 26.30 26.35 26.35 26.30 26.35 26.3	"	後	4.45	I	15.4 760.5	21.5 26.09	21.0 26.01				17			10	С
## 1.15 R	"	後	2.45	J							18	w		10	С
# 前 11.30 L 761 26.00 26.07 26.36 26.16 25.97 18 NNE 3 10 R 前 9.40 W 761 26.08 26.05 25.93 26.22 26.35 20	"	後	1.15	к							18			10	R
# 前 9.40 W 761 26.08 26.05 25.93 26.22 26.35 20 2 10 C 前 7.40 N 7.40 N 761 26.38 26.35 26.23 26.23 26.25 26.36 25 25 8W 2 8 C か 前 5.30 O 16.5 19.6 26.40 26.35 26.25 26.25 26.46 C 26.40 26.35 26.25 26.27 26.46 C 26.40 26.35 26.25 26.25 26.46 C 2	"	前	11.30	L							18	NNE		10	R
7	"	前	9.40	w		21.0 26. 08	21.0 26.05	20.9 25.93	20.7 26.22		20		_	10	С
プロ 5.30 0	"	前	7.40	N						-/	25		1	8	С
3月22日前 2.15 A 13.0 14.8 15.1 15.1 14.3 14.0 26.13	"	前	5.30	Ó	16.5						!				С
# 4.00 B 12.0 759 25.59 25.73 25.67 25.95 25.87 16.6 16.0 25.95 25.87 NW 3 6 BC # 5.53 C 12.0 759 25.73 25.69 25.85 25.95 25.85 17.2 16.1 25.85 25.95 25.83 NW 2 9 C 12.4 17.7 17.6 17.6 17.6 17.6 17.6 16.5 NW 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10					•	=	月		施	1	j				
" 5.53 C 12.0 17.4 17.4 17.3 17.2 16.1 " 12.4 17.7 17.6 <th>3月22日</th> <th>前</th> <th>2,15</th> <th>A</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th>1</th> <th></th> <th>1</th> <th>В</th>	3月22日	前	2,15	A								1		1	В
759 25.73 25.69 25.85 25.95 25.83 2 9 C NW 10 NW	"		4.00	В										6	вс
	"		5.53	С							1			9	С
	"		7.35	D										10	"

13.2 18.3 18.1 18.0 16.7 16.3 760.5 25.65 25.65 25.72 25.92 25.65

施

行

風向力

NNW

3

雲量

2

天候

В

月

8.5 16.9 16.7 16.6 15.7 15.7 763 25.89 25.68 25.72 25.95 25.82

氣溫 c 氣_{m.m}

場所

Α

Ħ

2月19日後 7.20

8.45

 \mathbf{D}

10

NW

 \mathbf{E}

20

月	月	時	分	場所	氣溫 c 氣m.m	7次	_	及		Ē.	透明度	潮流向	風向力	雲量	天候
		· -			:/(12/2-		25 m				(米)				
3月	2 2 E		10.30	E	14.0 /61			17.7 25.65	17.7 2 5 .72		23	E	w N w 2	0	С
"		後	0.10	F	15.0 761		20.1 25.58	19.4 25.72	18.5 25.82	18.2 25.82	22	"	WSW 1	1	В
"			1.55	G	16.7 761			20.2 25.85	19.9 25 72		22	"	wsw 2	0	В
"			3.45	н	17.0 761			21.0 25.92			23	"	WNW 2	0	В
"		-	5.46	1	17.5 761	1	21.3 25.78	21.2 25.82	20.7 25.84		20	"	sw 2	0	В
"			7. 4 4	J	17.8 761		20.7 26.19	20 7 25.97	20.7 25.97	20.4 25.99			8W 2	o	В
"			9.40	к	18.2 762					20,5 26.01	. 1		sw 2	0	В
"			11.35	L	18.5 763	20.5 25.77		20.7 25.79	20 6 25.89	20.4 25.90			sw 4	0	В
"		萷	1.30	M	18.5 763		20.4 25.84	20.4 25.86				,	8W 2	4	В
3月:	23 EJ		3.34	N	19.2 763	20,6 25,83			20.3 25.85	20.1 25.70			sw 2	0	В
"	İ		5.45	0	19.2 763			20.6 25.88	20.0 25.85				SSW 2	ο	В
"			8.00	P	19.7 764			20 5 25.79		ຳ 20.3 25. 8 0	20		8sw 2	o	В
"			10. 15	О	20.5 764			20.7 25.90			25		\$\$W 3	o	В
"		後	1.10	R	21.0 763.5				19.9 25.85				ssw 3	0	В
"			4.25	s	21.0 763				19,5 25,93		23		8 sw 3	0	С
"			7.30	т	21.5 763			20 6 25 .85		20.5 25.89			SE 2	О	С
"			10.C5	N	22.5 763			21.8 25.85					SE 2	6	вс
"			11.55	N	21.5 762	22 2 26.22	22.1 25.70	22 1 25.90	22.1 26.01	21.5 25.80			E 3	8	С
						fi.	月		施	1	<u>i</u>				
5月1	7日	後	0.35	A	22.2 761		19.6 25.93	19.5 25.93	17.1 25.73	16.0 25.93	24	Е	ESE 2		вс
"	}		2.25	В	24.0 761		20.8 26.10	19.5 25.87			23	"	ESE 2		"
"			4.00	С	23.8 761	22.3 25.80	21.7 26.07	21.(25.40	19.3 25.97		18	"	"		"

					氣溫c	——- 水	. 温	及	比 1	ŧ	法明押	!		1	(
月	Ħ	時	分	場所	氣 m.m	表面	25 m		100m	150m	透明度 (米)	潮流向	風向力	雲量	天候
5月1	7 🖪	後	5.47	D	23.3 760.5	22.7	22.6 25.90		22.0	18.0			E8E 2		С
"			7.30	D	23.0 760	22.8 25,90		21.5 26.07	19.9 25.70				E 2		"
"			9.25	E	22.0 760	22.0 26.03		20.5 25.97	20.0 25.70	18,3 26,16			ÉSE 2		"
"			11,15	F	22.0 760	22.5 25.73	22.0 26.28	22.0 25.73		20.0 25.35			ESE 2		С
5月1	8 🖁	前	1.20	G	21.8 759.5				20.5 25.73				E\$ E 2		С
"			3,20	Ħ	22.0 759.5	22.6 25.96	21.9 25.96		20.0 25.49				"		"
"			5.10	I	22.0 759			25.51	20.8 25.81	17.5 25.64			§E 2		"
"			9.10	J	24.0 459.5	25.59	25.68	25.94					"	i	"
"			11.35	к	24.0 759.5	25 ,46	25.98	25.88	25,81	20.7 25.81	24		. 11		"
"		後	1.30	L	24.0 759	25.56	25.56	25.63	25.78		22		8E 2		"
11			3.20	M	24.2 758	25,36	25.53	25.46	25.59	25.78			88E 3	6	С
"			6.30	N	24.0 757	25.49	_	25.46	25.53	25.69			88E 3		ВС
"			8.45	0		23 6 25.66			22,4 25,77				•		"
						八	月		施	1	Ī				
8月	4日	後	3,15	A	29.2 759		24.4	26.0	18.5	16.5	18		w 2	1	В
"			5 .04	В	29.2 758				19.1	17.8	26		WNW 2	1	"
"			6.55		29.0 758						21		NW 2	1.	"
"			8,35		28.3 759 28.3					19.3 23.0			W 2 NW	1	"
8月	5 🖽		0,15	D E	759 28.5		26.5	26.1	23.6				1 NW	1	"
″	, H	Ve	2.05	F	759 28.5 759	27.4	25,8			20.5			2 NW	1	"
	ŀ				/59	27.5	26,5	25.3	25.5		}		2	-	,

月	日	時	分	場所	氣溫 c 氣m.m	水	_	及		ħ	透明度	潮流向	風向力	雲量	天候
				*****	壓	表面	25 m	50 m	100m	150m	(米)				712
8月	5日	前	5.40	н	27.5 758	2 7·6	23.8	24.0	21.1	20.7			NW 1	1	В
"			7.30	I	28.5 758	27.5	26.5	26.1	23.2	21.0	30		N 1	1	"
"			9.35	J	28.0 758.5	28.6	27.9	28.1	23.6	22.2	32		N 1	1	"
"			11.25	ĸ	22. 0 75 9	28.5	27.5	26.9	24.2	22.8	31		N 2	1	"
"		後	1.10	L	29.0 758	28,6	2 7.0	26.8	20.6	20.5	32		N 1	1	"
"			2.55	M	29.0 758	2 9.2	28.2	27.8	23.7	23.0	36		N 1	1	"
"			4.35	N	2 9.0 758	29.0	28.6	27.0	25.0	22.9	33		N 1	1	"
"			6.25	О	28.5 758	29.1	28.7	27.7	24.5	22.6	29	i	NE 1	1	
",			8.45	P	27.5 757	28.4	26.8	26.7	24.1	22.8			NE 2	1	"
/	•		11.00	G	28 _. 0 758	28.6	28·2	25.9	23.6	23.0			NE 2	1	"
8月	6日	<u>.</u>	1.45	R	28.2 757	29.0	27.6	26.1	23.6	23.0	ı		NE 2	1	"
"		} 	4.27	s	28.8 757	28.6	28.6	27.0	23.0	22.6			NE 1	1	"
"	•		7.12	т	28.8 757	29.0	28.7	26.1	23.3	22,0	32		ENE 2	1	"
"			9.05	G	28.8 757	29.1	29.0	28.2	28.0	22.5	32		ENE 3	1	"
		_			-	+-	月	=	施		了 了			<u>!</u>	1
					 ,	· 			7100						
9月	28月	後	7.00	A	24.0 764	25.3 24.81	24.0 24.63	22.0 25.35	19.8 25.43	19.0 25 _. 65			8E 2		В
"			8.45	В	24.0 764	26.1 25,28	26.0 25.23	21.4 25.75	19.5 25.85	19.3 25.93			8£ 2		"
9月	30 E	後	0.00	С	26.0 764	27 5 25.05	26.6 —	25.0 25.33	19.4 26.03	16,9 25.71	29	E			"
"			1.45	D	-	28.1 25.11	26 0 25,31	24.7 25.86	22.0 25.76	21.4 26.17	31	NE		•	"
10月	1日	前	9.55	D		27.3 24.99			20.5 25.98	18.0 25.85	17		8W 2		"
"			10 .35	Е	26.0 763	27.5 25.38	26 8 25.33	25 7 25.73	21.0 25,75	19.2 26.18	23	E	w 2		"
"		後	0.20	F	26.0 764	28.0 25.38	27.7 25.56	27.5 25.16	26.6 25.58	24.0 25.83	19		w 3		"
"			2. <i>2</i> 5	G	27.3 76.3		27.6 25.50	26 .5 25 .53	23.7 26.11	20.7 25.93	15		w 3		"
"			4.00	н	27.3 763		27.6 25.18	27.5 25.48	25.7 25.51	22.0 26.19	23		NNW 2		"

:

1	ū
,	4
•	-

月	B	時	分	場所	氣溫 c	水	溫	及	比]	 f	透明度	潮流向	風向力	雲量	天候
<u> </u>					氣 _{m.m}	表面	25 m	50 m	' —	150m	(米)				
10月	1 日	後	5.40	I	24.5 764	27.5 25.52	27.5 24.79				29		NW 2	į	A
"			7.25	J	25 .0 76 4	27.0 25.49			25.5 25.74	22.8 26.15			NW 1		"
"			9.05	K	25.0 764	29.3 25.21	27.0 2 5.51	27,6 25.29	25.0 25.74	22.9 25.21			NW 1		"
"			10.45	L	25.3 764	27.3 25.25		27.5 25.32	26.4 25.52	24.0 26.05			N W		"
10月	2日	前	0.20	M	25.7 764	27.5 25.49		27.5 25.65		24.0 26.17			NW 1		"
"			2.05	N	24.5 760	27.4 25 _{.14}	27.5 25.44	27.3 25.52	26.5 25.47	23.7 25.66			NW 1		"
"			3.45	О	24.1 764	27.0 25,55	27.0 25.25	26.4 25.85		23.7 25.96	ì		N 1		"
							· · ·			<u></u>	·			, ,	
					_	†		月	施	1	Ĵ				
10月:	30 g	前	9.30	A	11.0 770.5	22.3 25.49	22.2 25.57	22.1 25.57	19.3 25.62	17.3 25.67	25		NE 2	10	С
"			11.50	В	14.0 769	22,2 25,49	22.1 25.84	22.0 25.62	20.1 25.82	18.5 25.64	23		NE 2		n
"		後	0.35	С	15.5 767	22.1 25. 5 5	22 0 25.56	22 0 25.66	21.3 25.55	17.1 25.55	16		NE 2	10	"
"			3.15	D	14.5 769	22.4 25.68	22.5 25.66	22.5 25.58	20.5 25.55	18.1 25.87	25		NĒ 2	10	ŋ
"			4.55	\mathbf{q}	15.0 769			20.8 25.58	20.5 25.55	18.2 25.75	18		NNE 2	10	"
"		ı	6 30	E	15.2 758.5	22.2 25.75	22.0 25.47	22.0 25.67	21.0 25.47	19.5 25.67			NE 2	10	"
"			8.30	F	15.8 768		22.5 25.57	22.2 25.70	21.3 25.50				N NE 3	10	"
/			10.20	G	16.0 769			22 5 25 78	22.0 25.89				NE 3		"
12月	1日	前	0.15	н	16 2 769			23.0 25.56	23.0 25.56				N 3		"
"		•	2.10	1	16.5 769	23.0 25.66		22.3 25.66	42.6 25.88	22.5 25.69			N 3		"
"			4.00	J	17.2 769		23.0 25.82						N 3		"
"			5.50	ĸ	17 0 768		23.0 25.74		21.3 25.74				NNE 3	; [R
"			7.45	L	17.0 769	23.1 25.39	23.4 27.68	23.4 25.68	23.4 25.78	23.0 25,59			NNE 3		"
"			9.30	M	17. 5 759	22.5 25.59	23.0 25.68	23.0 25.68	23.3 25.78	22.7 25.76			N 3	10	С
"			10.50	N	178	-	23.1	23.0	22.9	23.0			NNE 3	10	R

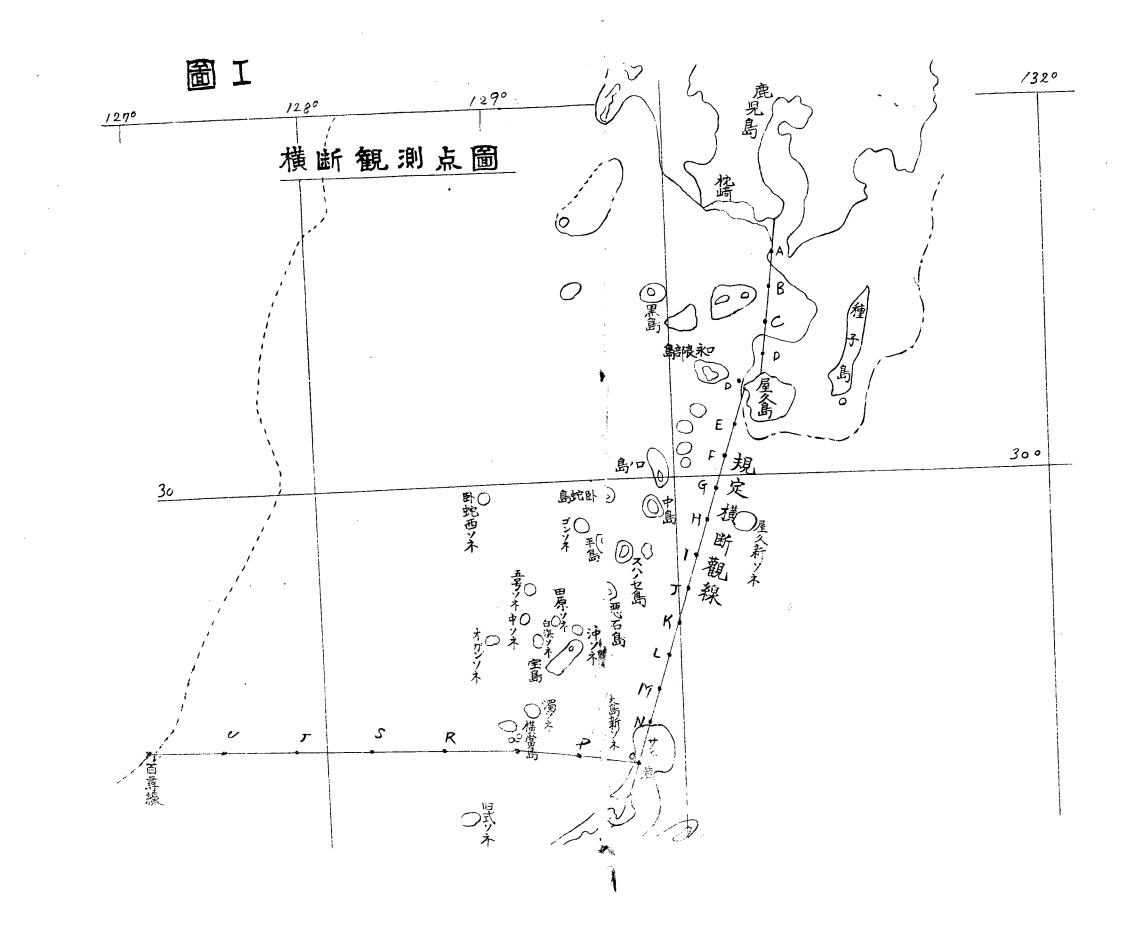
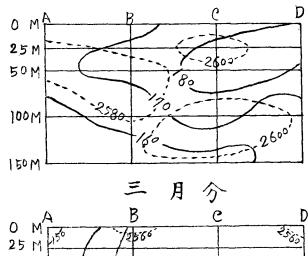
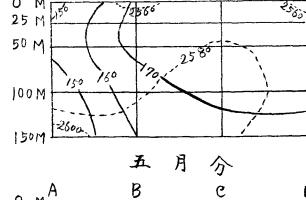
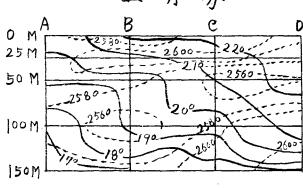
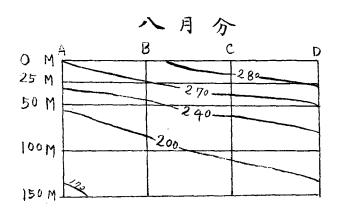


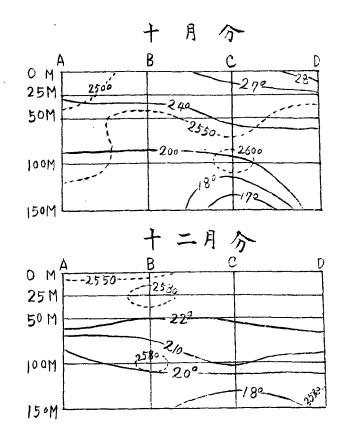
圖 工 開門岬一屋久島間 二月分



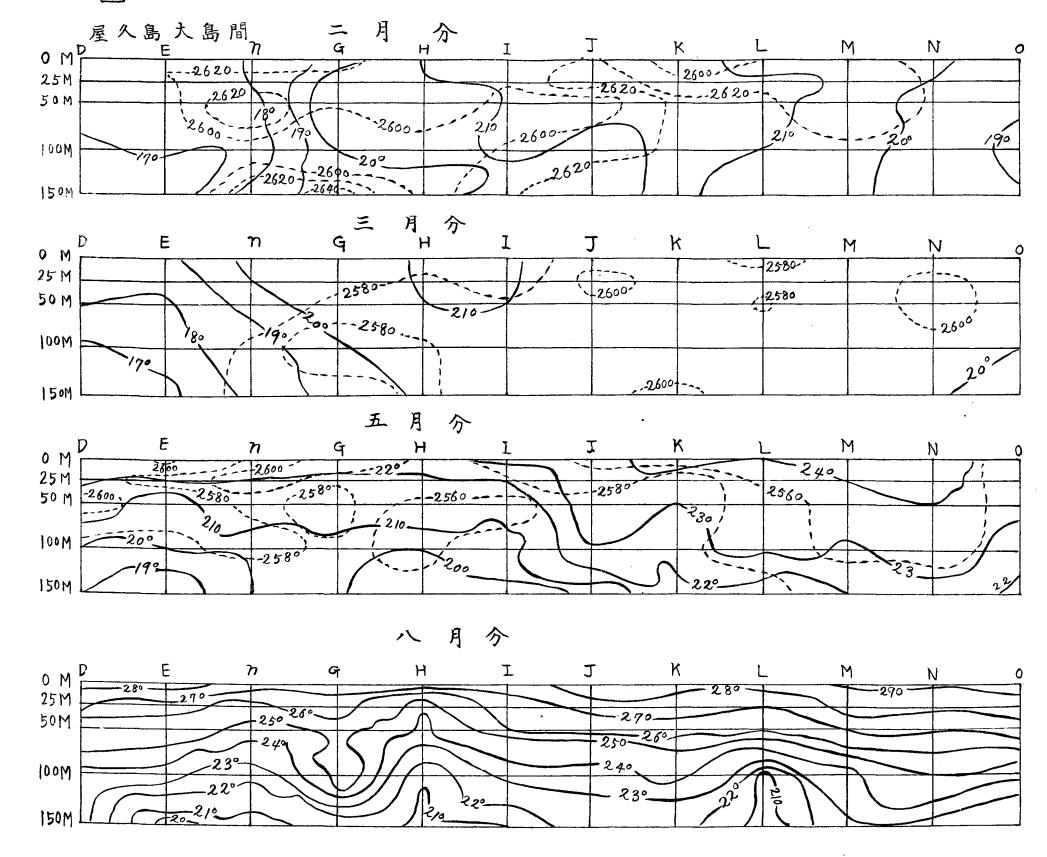


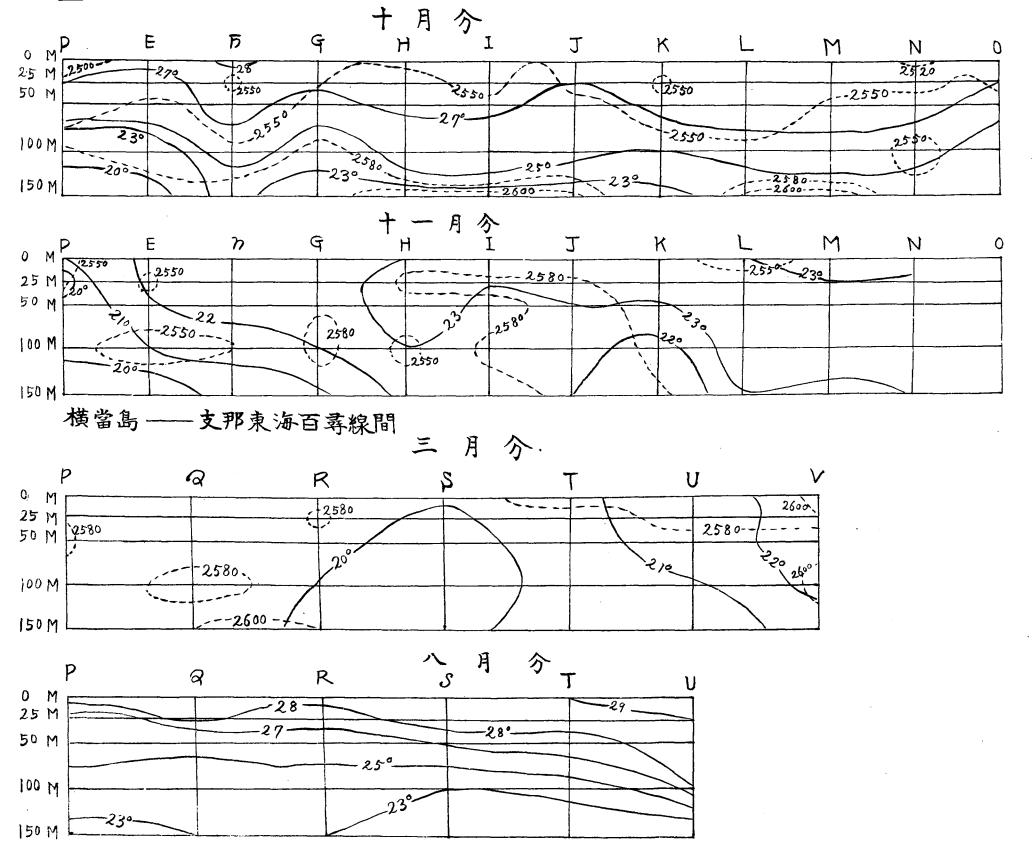






圖皿





梅 洋 觀 測

月迄各月一回宛施行したるが特に本年よりは里崎、長崎鼻、長崎鼻野間岬及野間岬、里崎間の三線を新設し観測調査に從事せり。 本縣沿岸漁業中主裝の地位を占む鰤及鰛の漁况と海况との關係を調査せんが爲め前年に繼承し左記観測線を設け昭和八年十二月より同九年二

尙三月以降は場務の都合上欠測となれり。

一、佐多岬 —喜志鹿崎(種子島北端) 五浬問隔 四 点

二、喜志鹿崎—都井岬

三、都井岬-火崎

四、野間岬ー里島

五、野間岬ー手打 六、里崎-長崎鼻

野削岬 長崎鼻

野問岬 —里崎

六 点

三浬閒隔 四 点

□○ 工門隔 五浬間隔 四 点

Ŧi.

点

四 点

一〇浬間隔 四 点

五浬問隔 六 点

観測層は表面二十五米、五十米、百米、百五十米の五層なるが水深一五〇米以内の点に於ては底層迄の観測を施行せり。

				+ =	月	(八	年) 方	拖 行	ř			_	
月日	時 分	場所	氣溫 c 氣 _{m.m} . 壓	水 表面 [溫 25 m	及 50 m	比 1 100m	150m	透明度 (O)	潮流向	風向力	雲量	天候
2月22日	8.18	х	10. 2 760.0	19.5 25.62	19.5 26.02	19.0 25.73	19.5 25.82	19.0 25.86	26	N	NW 3	10	R
"	9.04	w	10.2 76.00	19 5 25.85			19.5 25,65		25	N	NW 3	10	С
"	9.54	v	10.0 76.00	18.6 25. 52		18.6 25.52			23		NW 3	10	С
"	10.44	U	10.5 760.5	18.4 25.45			18.2 25.52		21		NW 3	10	С
"	11.08	т	10.8 760.5		17.9 25.42			_	20	N	NW 3	10	С
"	12.00	٨	10.8 760.0		18,0 26.06				20	N	NW 3	10	С
"	13.00	В		18.5 26.00	18.2 25.82	18.1 25,83		17.5 26.15	20		NW 3	10	R
"	14.05	С	_	19.0 25.85		18.5 25.42	18.5 26.02	18.3 25.85	18		NW 4	10	R
"	15.05	D	11.0 758.0	18.6 25.92	18.5 25 .83	18.0 26.00	18,6 25,93	18.5 25.92	2 0		NW 4	6	С
"	19.34	E		18.5 25.95	18.6 26.02	18.5 25.95		_	18		NW 4	9	С
2月23日	8,20	F	9.5 759.0	18.5 25.92	18.5 25.53	18.2 26.02		- -	18		NW 3	10	С
"	9.11	G	9.5 759.0		18.0 25.92	17.5 25.86		_	20				
"	10.00	н	10.3 759.5		18.0 25.91	18.1 26.06	_	_	21				
"	11.17	ı	10.2 759.0	18.0 25.94		18.1 25.61		-	-			1	
"	13.05	J	11.0 758.0	17.8 25.36		17 0 25.76		-	17		WNW 4	8	С
"	15.07	κ	11.0 758.0				17.5 24.48	_	17		WNW 4	7	С
	- 1		_		月		施	Â	ī		-	•	
1月26日	11.32	×		14.5 25,71	14.3 25.88	14.2 25.88	14.5 25.69	13.8 25.91		N			
"	12.42	w	6.0 766.0			14.6 25.78	14.5 25,91	14.5 25.91	22	N	NW 4	10	С
"	14.12	v	6.0 767.0	16.0 25. 88	14 7 25.99	14.7 25.98	14.5 25.91			И	NNW 4	10	С
"	15.19	U		. 16.0 25.50	15.5 2 5.89	15.3 25.88	14.5 25,88	14.5 26.10	22	N	NW 4	10	С

月日	時 分	場所	氣溫 c 氣m.m	水		及		<u> </u>	透明度	潮流向	風向力	雲量	天候
	<u> </u>		壓	表面]	25 m	50 m	100m	150m	(0)				
1月26日	19.45	т	6.0 767.0			15.4 26.00	_	_	21		NW 4	9	С
"	21.25	P	9.5 768.0			16,5 26.05	15.5 25.85			И	N 1	2	В
"	19.50	Q	9.5 768.0		16.8 25.95	16.5 26.05				N	N 1		В
"	18.15	R	9.0 768.0	16.5 25.95	16.3 26.05	16.0 26.02	15.3 25.12			И	N 2	2	В
"	17.20	8	10.7 769.0	16.5 25.62	16.4 25.52	15.6 26.16	15.6 26.05				N 2	1	В
1月28日	8 . 57	٨	9.0 767 _{.0}			16.5 26.01		_	24	NE	NE 2	10	С
"	9.47	В	10.2 767.0			16.9 26 18			25	NE	NE 2	10	
"	10.37	C	10.7 767.0	17.1 25.89		17.3 25.93			25	NE	NE 2	10	
"	11.26	D	10.3 767.0	16.8 25.79		16.0 25.99	16.2 25,95	_	24	NE	NE 2	10	
"	12.10	E	10.4 767.0		15.6 25.71	16.2 25.87	13.4 25.79		25	NE	NE 2		В
"	12 · 30	F	10.5 767,0	16.6 25.87		16.5 25.91	16.2 25.87	_	24	NE	NE I	2	В
"	13.00	G	10.0 767.0	17.0 25.97	26.5 25.89	16 2 25.89		1.1	24	NE	NE 1		В
"	13.50	н	11.5 767.0		16.8 25.99	16.8 25.99	16.5 26,01		24	NE	NE I		В
"	14.48	ı	11.0 767.0		17.0 26.01	16.9 25.99	16 8 26.19	-	24	E			. B
"	15.52	J				17.6 25.99			24		NW 1		В
"	17.00	K	11.0 767.0	18.0 25.88	17.7 25.87	17.2 25.98		_	23		0		С
"	17.40	L	1 1	25.88	- 1	26.07	!		21		NW 1		С
"	18,15	M	10.0 767.0	17.1 25.92	17.3 25.92	16.7 26.08	17.0 26.07				NW 2	4	В
	·	7	-		月		施	1	j				
2月21日	18.14	A	13.5 761.0	16.0 25.89	15.7 2 5.93	15.7 25.82				NE	0	10	С
"	18.56	В	=	17.8 25.85	17.0 25.91	17.5 25.90							

月	В	時	₩.	場所	氣溫 e 氣m.m	水	温	及	比 1	 fi	透明度	湖流向	風向力	雲量	天候
,,,	•			20101	壓m.m	表面	25 m	50 m	100m	150m	(())				
2月2	51 B	1	9.43	С	12.0 762.0	17.8 25.83		16.7 25.85	16.0 25.72			E		10	R
"		2	0.30	D	12.0 762.0		17.8 25 84	17.8 2 5.94	17.0 25.85	_	:	E		10	R
"		2	1.04	E	12.0 762.0		17.8 25.84					E	NE 1	10	С
" //		2	1 , 53	F	10.0 762.0				16.2 25.85			E	NE 2	10	С
"		2	2.39	G	10.0 762.0	16.3 25.86	16 .4 25 64	16.1 25.85	15.4 25.83			E	NE 2	10	С
"		2	23.27	Н	762.0	17.0 25.77			15 7 25,83			ſ	NE 2	10	С
2月2	22 H		0.15	1	762.0	17.2 25.86			16,5 25,83			E	NE 2	10	С
"			1.02	J	760.0	17.0 25.85			16.3 25.86			N	EN 2	10	С
"			1.40	ĸ	760.0	16,6 25,83	16.6 25.72	16.5 25.86		_			NE 3	10	С
"			2.20	L	760.0	26.8 25.82			15.6 25.89				NE 3	10	C
"			2.55	M	760.0	16.9 25,82		16.6 25.77	15.7 25.87				NW 3	10	C
2月2	50日		3,30	P	9.0 764.5				16.2 26.02				N 3		С
"			5.05	0		16.6 26.03	26.04		26.02	25.86					
"			7.30	R	9.5 76.40		16 7 25.85	16.7 25.97	16.5 25.89	15.2 26.14	16		N 3		С
"			8.48	s	9.2 764.0				15.5 25.97		19		N 2	10	С
"		1	0.10	τ	9.5 764.0		16.3 25.97			_ _	21		N 2	6	С
"		1	1.05	U	!	25,85	ĺ	16.7 26.18	16.7 25.98				N 3	7	С
7		1	2,03	V	764.0	-	25.90	26.00	16.5 25.90	25.90	23	N	N 2	8	С
"		1	3.00	w	9.5 764.0	17.0 25.89	25.90	26.CO	16.5 26.00	16.0 25.98	23	N	N 2	5	В
. "		1	3.50	x		16.6 25.89		16.0 25 _. 93	16 0 25.93	15.5 25.90	23	N	N 1	5	В

仝

月

六八

云五

五、六

云、四

内之浦方面ニ於ケル鰤漁獲高(尾敷)

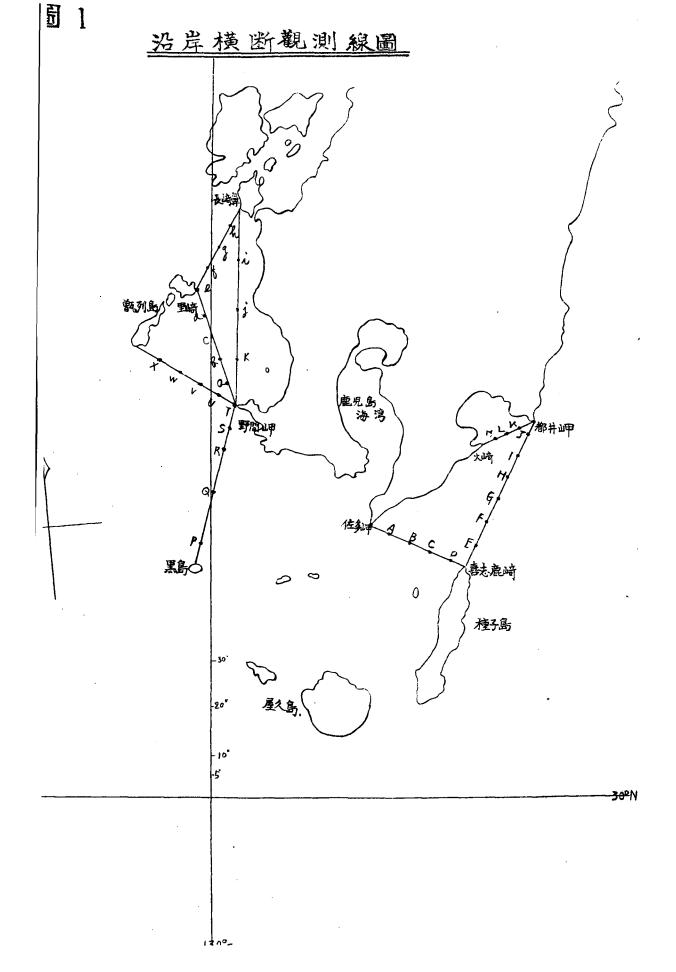
表 面 二五米 五
米
Fi.
() 米
底層
四層平均
透明 (米)
備

有明灣口(都井岬、火崎間)ノ平均水溫ト透明度

計	仝 四 月	_	仝 三 月	三 二 月 月	三二一月月月	三 二 十 二 月 月 月 月	年 年 十 十 一 二 月 月 月 月 月
	- 二 二 一 二 .	101	_		-		
三	へ、三、九七三	三、完二					
	-	·			<u>ب</u> م =	五 3 3 1 1 1 1 1	五 五 九 九 九
ハ、四三宝	二、公五三	四、七八五		K 0:	既 五八七	M	四至二
二五、五〇九	一、六二四	五、天四		美	三、140	17 140 041.11	17、1100 1 1100 1
四七、一九	10、45二	コミ・ヘニへ		一 " 二 六九			
	<u>=</u>	_元		==		٠	
							□印ル大謀網ルス
							落網

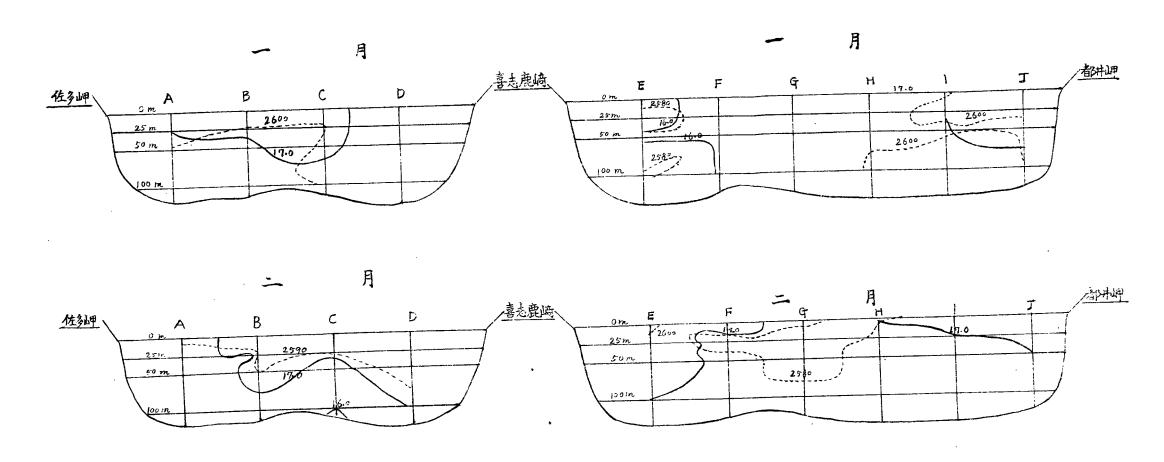
片浦灣ノ鰤漁獲尾數ト平均水溫

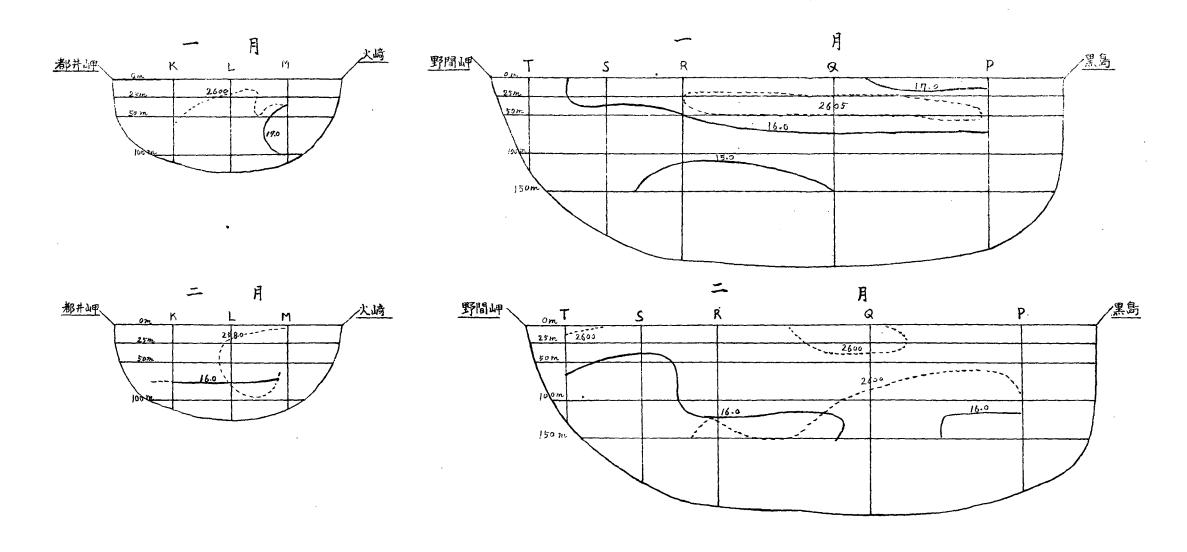
	五	四	Ξ	=			
計	月	月	月	月	月		月
三、五九	五.111	翼				尾數	漁
上	_≣_		긆	!			獲
1	卆	北	gy.	[_	%	高
						[
1	1	_1_	1	六、 四	₩, ₩,	点	水
						U	İ
ı	1	1	i	六	A .	点	
1	1		1	一六、五	五五、三	平均	溫
		-			=	T 点	透
				<u>3</u> 0	0, 11	_	明
1	1	1	1), E	Ħ,	U 点	度
	•			<u> </u>		平	度 (米)
1	1	ı	ı	111170	0.11	均	
					掲ゲタリ 漁獲尾敷ハ前網!:		備
					ノ も ヲ	'	考



佐多岬——喜志鹿崎

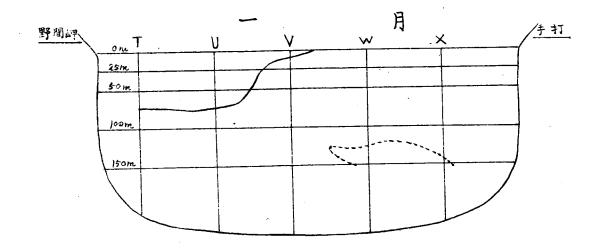
李志彪崎 —— 都井岬

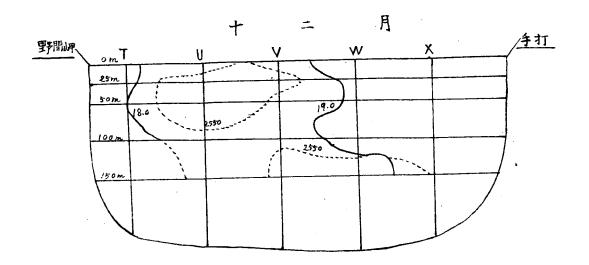


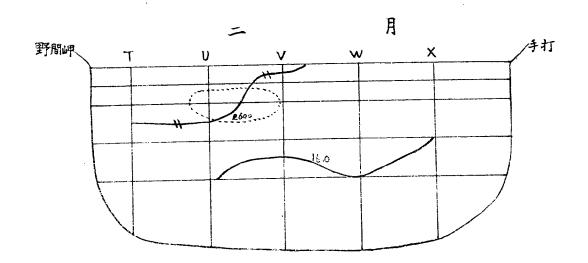


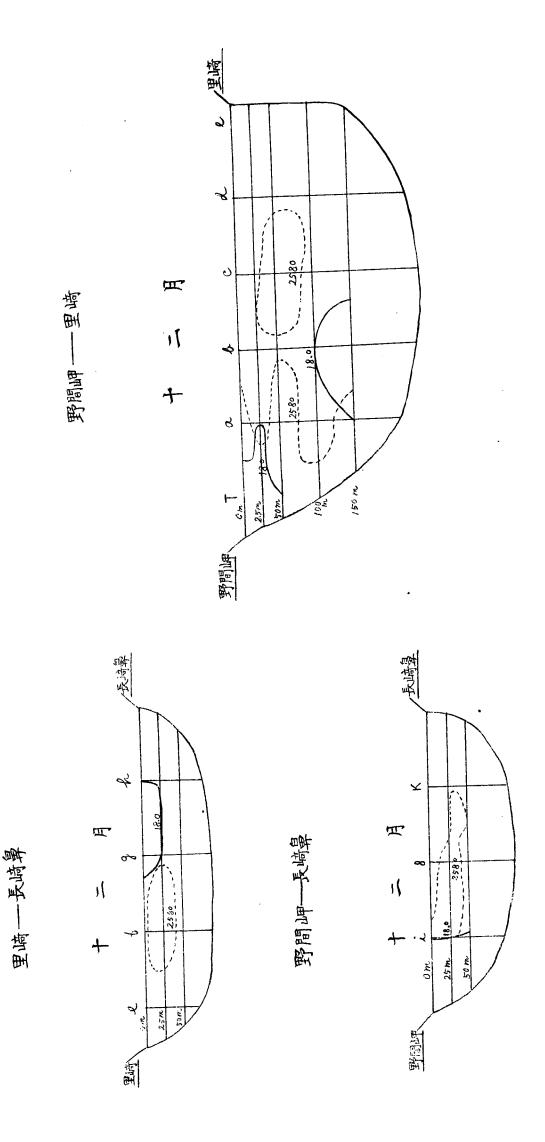
野間岬 一 手打

圖W









鹿兒島灣定点觀測表

漁況と海况ミの相互的關係を調査研究する爲鹿兒島灣內冲小島沖に定点を設け原則として毎月一日 十五日の二回表層二十五米.五十米.七十五百米の五層の水溫.比重.水色透明度.流向.流速.氣象 等を觀測せり

定点觀測表

						<u> </u>		ניאלו	<u> </u>				,		
月	A	睫	分	氣 溫				L			透明度	流向流速	雲量	風向	天候
	,				0 m /	25m	50m	75m	100m	平均	<u> </u>	OIL 128	<u> </u>	風力	<u> </u>
1	. 8	10	am 0.50	9.2	17,0 25.68	17.1 25.88	17.1 25.69	17.1 25.69	17.1 25.81		12.0	.t. S	5	N 1	В
2	. 1	10	0.00	6.0	15.5 27.3ı	15.5 27.34	15.5 27 24	15.3 27.11	15.0 27.34		15.0	下 W	10	NE 2	С
2	.18	11	. 20	6.0	15.5 27.31	15.5 27.34	15.5 27.24	15.3 27.11			15.0	下 W	10	NE 2	С
3	. 1	10	0.00	10.0	15.2 27.50	15.3 27.47	15.3 27.38	15.2 27.46	15.1 27.58		12.0	下 SW	6	N 3	С
3	1.15	10	0.10	6.0	14.1 27.40	13.8 27.48	14.1 27.56	14.3 27.46	14 2 27.58	14.30 27.50	11.0	E SE	10	NW 2	С
4	. 5	10	5.00	16.8	16.5 25.83	16.2 25.7 2	16.4 25.83	16.0 25.03	16.1 26.83	16.24 25.85	12.0	E S	10	NE 1	R
4	1. լ6	9	P.30	14.9	17.5 25 89	17.5 25.96	17.0 25.95	16.1 25.85	15.2 25.89	16 66 25.91	15.0	r S	6	NE 2	С
5	5. 1	,	9.50	14.5	17.5 25.88	16.5 25.86	15 4 25.88	15.1 25.78	14.7 25.80	15.84 25.81	12.0	ድ s	7	SE 0	С
5	. 15	11	ι.οο	19.7	18.0 25.76	17.3 25.80	16 0 25.90	15 5 25 .90	15.0 25.98	16.36 25.87	9.0	r nw	0	8 W	В
6	. 1	10	0.00	21.6	22.4 25.55	20.1 25.50	19.7 25.45	18.6 25.45	17.2 25.40	18 60 25,47	13.0	上 s	7	1	С
·e	. 15	٩	7.50	21.3	21.8 25.50		19.3 25.50	17.4 25 50	16.3 25.50	19.06 25.50	13.0	.t. S	10	NE 1	С
7	. 3	11	ı. o o	25.5	26.0 25.34	21.5 25.40	19.2 25.40	18.0 2 5.48	16.6 25.50	20.06 25.42	14.0	上	1	s 0	В
7	'.16	2	Pm 2,40	31.2	29.5 25.25	22,6 25.30	20.0 25.32	1₹ 6 25.29	15.9 25.30	21.52 25 29	12.0	下 一	7	wsw 1	С
8	. 1	10	00.0	27.9	27 6 25 36		22.0 25.43	19.9 25.36	19.3 25.36	22.68 25.24	15.0	<u>+</u> s	4	8W 1	В
8	. 16	10	am 0.00	29.4	28.6 25.11	27.0 25.24		20.0 25 .37	21.0 25.24	23.02 25.28	18.0	<u>ቸ</u>	1	wsw 1	В
9	. 2	9	9.30	26.8	28.3 24.76	26.9 25.30	20.2 25.80	17.5 26 _. 10	13.0 25.60	21 .18 25 .46	13.0	S EW	5	w 1	В
9	. 15	ç	9.50	25.7	27 4 24.84	26 _{.3} 25.27	20.5 25.90	17 7 2 5.99	16.7 26.10	21.72 25.62	20.0	± s	4	ų,w	В
10	. 1	3	Pm 3.00	23.7	24.6 24.74	23.1 25.05	22.0 25.38	2.15 25 52		22.42 25.08	11.0	上上	0	NE 1	В
10	. 16	11	m. 00. I	21.5	23.5 25.51	23.6 24.81	22.0 25.11	21.5 25.31	22.2 24.68	22.56 24.89	15.0	± sw	4	NW 2	В
11	. 2	10	0.40	17.7	21.4 25.39	21,9 25.01	21 . 4 25 · 70	21.4 25.60	21.0 25.90	21.52 25.5 2	11.0	SE L	9	NW 2	В
11	. 15	11	ι.30	14.5	20.5 26.21	19.8 26.11	19.5 26 08	18.2 25.58	17.0 25.48	19.0 25.89	10.0	<u>r</u> S	i	N W 2	В
12	2. 1	10	0.30	12.6	18.5 25.82			1808 26.09	18.7 25.86	18.70 2 5.88	15.0	r s	6	NE 2	С
12	. 15	1	1.50	15.8	18.4 25.82	18.4 25.90	18,4 25.83	18.4 26.06		18.4 25.90		<u>ະ</u> N	2	NE	В

										1	
+	九	٨	t	六	Æ .	四	Ξ	=		月	觀
#	~									別	測
下中上	下中上	下中上	下中上	下中上	下中上	下中上	下中上	下中上	下中上	旬別	期
										ħ	+
三元	五六	, 그 근 사건	元 元 元 元	言言	\ <u>\</u> \\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	1至3	一三三		1 0.4.0	年	
										平	
三三宝	0=4 2=4 1=4,4	元言者	교롯듯	==== =================================	= -0	るまだ	<u> </u>	구 건 크	五六六八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八	4	*
										九	=
三三二	元元 三元	一つが	三二	<u> 3 </u>	기 프로 지구 기 기 기 기 기 기 기 기 기 기 기 기 기 기 기 기 기 기 기	三五二		三五五	11=	年	+
										平	ħ
		東 宝芸 一九二	量量量	533 727	= 727	チェン	夏玉玉 國八宝	건 건 건 건 건 건 건 건 건 건 건 건 건 之	7.7.7. 0.8.7.	年	*
										ħ	£.
<u> 0 0 </u>	1 m =	元三	57. 10 <u>=</u>	元元	スモ	- 6M		三三	1 = 1	4	+
										平	
		三三六	二九元	지금지	九七大	177 247	四支玉	五大五	77.7 62.7	年	*
										ħ	ㅂ
三二	中華	57 10%	7,7	七八八	三二	大大 大大	E =	三三	112	年	+
										平	£
2 2 2 2	3=3 2=3	지금글 0=-	元八八	スカス	7.2.7. = 7.7.		四五四	天宝宝	***** ****	华	*
										九	百
===	140 140	= 7.	五八	X = 1	O.Y.	東京	三二	100 EE	113	年	
	——————————————————————————————————————					· - -				平	
		~ ~ ~	スモモ		元元六	7,2,7, 2,7,2,7,2,7,2,7,2,7,2,7,2,7,2,7,2	五五	135	七六七、五九四	年	*

八四

4,000

í		ļ		
	5		•	

八月上 宝宝	七月~中上 11年 11年 01 11年 01 11年 01 11年 01 11年 01 11年 01 11年 01 11年 01 11日 11日 11日 11日 11日 11日 11日 11日 11日	六月一中 三至至 三至三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三	五月、中二五六八二五二五八八二五四八	四月十二五六二五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五	三月 中二元(100 元元(10) 元元(10)	一月~中上二七三二二五次九		月 日 自別 九 年 一 平 九	觀測期一〇米	田利二公月
1200年2月1日 1200日 1	04. HE	五五二五	景景 10公	三五十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	三七	間によけ	宝 11 <u>次</u>	年	+	2
100 七三二四十二二四十二二四十二二四十二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二	五五五二元	二五二五十七六二五十七六	二五、大五二五、大五二五、大五二五、大五	記記記 元 元 元 八 八 二 元 八 八 八 八 八 八 八 八 八 八 八 八 八	二五、大元二五十八十八五二五十八八五二五十八八五二十八八五二十八十八十八十八十八十八十八十	二五、六五二五、六五二八八五二八八五二八八五二八八五二八八五二八八五二八八五二八八五二八八五二八	三五五	华	五米	4
二二五		二二五五 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	量量、たの人	二五、九八八五二、九八八五	二七 五 八 五 八 五 八 五 八 五 八	一点によい	宝完	九年	五 十	() 排
三五五、七五五、七四五二五五、七四九二	三五、五二元、五二元、五二元、五二元、五二元、五二二元、五二二元、五二二元、五二	五五二五二二五二二五二二二五二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二	量でまた	宝宝、大大	宝宝. "大大" "大大"	三五二五、九八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八	二五、五二五、五二五、五二五、五二五、五二五、五二五、五二五、五二五、五二五、	平年	*	1
宝宝	量量	至量						九年	t	
是吴	1 元 門	5星	宝宝 185	量量 企 <u>企</u>	12.5	一二二	<u> </u>	平	五	
二五五二五五二五五二五五二五五二五五二五五二五五二二五五二二五五二二二二二二二	二十二二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	宝宝. 宝宝. 第二六九	三八五二五八五二五八五二五八五二二五八二五八二二二二二二二二二二二二二二二二二	是最大	三量元	五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五	五五二五二五二五二五二五二五二五二五二五二五二五二五二二五二二五二二二二二二二	年	*	
量量	二五、五 三五、五 三五、五 三五、五 三五、五 二五、五 二五、五 二五、五	13, 30 100	宝宝、人	五六、〇三	岩岩、 三	二二 七七 三 四 四	트로, 스 스	九年	百	
二五、五二五、五二五、五二五、五二五、五二五、五二	二五、八〇四二五、人〇	二五八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八	三五、五二五、八五二五、八五、八五、八五、八五、八五、八五、八五、八五、八五、八五、八五、八五、八五	ここで、八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八	三年、七二年、七二	三五八八四四四四二五八八四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四	二五、四六 二五、四六 四六	平	*	

昭和九年度比重ご平年比重ごの比較表

十二月 {	十 月 (
下中上	下中上
<u> </u>	= = = = = = = = = = = = = = = = = = =
七八元 八四八	7 - 5-11 10 - 5-11 11 - 11 - 11 - 11 - 11 - 11 - 11
八八、	元三
モス元 九九八	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
八八 八八 四元	7. E
보고 보고 - 보고 기	元三二、
元元 <u>- 届元</u>	一 一 二 二
	元二0
	0.41
八九	元へ pa 0

趣 旨 鰹及鰤は本縣に於ける遙洋沿岸の代表的王要魚にして此等魚群の移動徊游の狀態は漁業上密接なる關係あるを以て標識 放流に依りて

重要魚洄游調査

最	最	
低	髙	
(十月.	(三月.	0
上旬	上記	*
(十月二	(三月二	二 十 五
中旬二	二月中旬)	*
(十月中	(三月中	五十
月中旬)	三月中旬)	*
(十月	(三月	ቲ ተ
中量	た句)	五 米 ———
(十 月	(1)	百
月 中旬)	月七旬)	*

本年	低	高	
度中			0
に於ける日	(三月中旬)	七月中旬)	*
最高最低比重	(三月中旬)	(八月中旬) 云"()	二 十 五 米
	(三月中旬)	(八月上旬)	五 十 米
	(三月中旬)	(十月上旬)	七十五米

百

*

(三月中旬)

(十月中旬)三、二

最

最

本
年
度
中
に
於
it
- /
3
3
る最
3
る最高
る最高最
る最高最低
る最高最
る最高最低

<u>+</u>	+	+	カ
十二月	+ 月	A A	月
下中上	下中上	下中上	下中上
13 12 12	云 <u>宝</u>	三 五四 至七 一四	
五五五五 元 五五五 元 元 元 元 元 元 元 元	三宝元	三五、一二五、一二五、七三	高二三三三三二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二
료로 ! 건축	关量 1二0	10至	量量
三五二二三五 大元 大元 大元 大元 大元 大元 大元 大元 大元 大元 大元 大元 大元	二五、二五、六五二五、六六	五四四、八五五四、八五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五	三二三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三
五五八八二五八八二二五八八二二五八八二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二	元芸	元芸	14.70 14.70
五五二五二五二五二五二五二五二二五二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二	三五五、五五五、七五五、七五五八	ニュニ五、〇六	二五、二二二二二九、二二九、二二二二二九、二二二二二九、二二二九、二二二九、二
2 2 2 2 2 2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	====================================	三五、五二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二	宝云,
二二二五五二五五五二二五五五二二五五五二二五五五二二二五五二二二二二二二二二二	三五、二五、二五、二五、二五、二五、二五、二五、二五、八二五、八二五、八二五、八二	二五、二五、三五、五五、五五、五五、五五、五五、五五、五五、五五、五五、五五、五五、五五	三五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五
三流、公	豆豆 豆豆 门穴	品品 六宝	二五八四
三五二五二五二五二五二五二五二五二二五二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二	宝宝、 英之	宝宝 1二类。	量品

其の游徊移動の經路、時期、成長度等を明にせんため本年度も繼續施行せしが之が經過及成績左の如し。

經過及成績

鰤	仝	鏗	魚種
		銀 _ ピ	尾標種
0_		九ン	數類
//	//	尾	部標
		柄	位識
手飼	"	竿	漁供試
釣付		约	魚 具の
九		九	年放
=	九、一	五	月
· 六	五二二	_	日流
的出 曾 根	オガン 曾根	南 西 三浬	放流位置
別			の放
記	~~	~~	狀 流 常 况時
力力	六〇新	1~②約二二四	標
號	一	八一五 號號〇	. Septe
∄	リリタ	ハヨタ	魚
y	004	原り/ ク四モ	0)
8	號號ノ	〜○ノ 號	番
號	二八號		號
"	<u> </u>	未爾捕	成
			捷

鰤放流當時の狀况

水溫 六二表 二五 米米面 一二二 七、二〇、 五〇度度 氣溫 二一、〇度 天氣

曇

流速 緩 水色 良

低質 礁

風向力北西

流向南南西

潜

水調 查

定 置漁 場 調

査

趣 を圖らんが爲め調査船探礁丸(五馬力發動機付)に依り『マスク』式僣水を以て左記十二ケ漁塲の調査を了したるが其の効果富業者を稗益する 旨 從來の机上の研究調査のみに依る欠点を除去せんが爲め潜水に依り定置漁具敷設の實狀海底の狀態を精査し之に基き漁具漁法の改善

所大なるものありたり。

九、	年
八、	月
——— <u>六五四</u>	A
海	漁
藏	場
小夏	種漁
謀敷	類具
先內肝 之屬	位漁
浦郡町地	置塲
網操	
の原因たる舊碇網時常に破網す	
石約五〇個を除るを以て調査せ	調
去し 引處	查
揚げたり	
石のために	結
側明せし	果
を以て	
薬網袋	
に依	
め破り	

めたり尙垣網止碇附近に潜水して海底の岩礁に『ワイヤー』を貫通せしめて碇-娃 羽口附近の岩礁調査をなせし處岩礁多く將來の敷入位置に付深甚の注意を要す。	村地井源	鰛落網	水成川	<u> </u>	ō
探案し得たり 中型落網を敷入準備中にて漁場附近に岩礁極めて多く苦心調査の結果辛ふじて敷設位置	仝	仝	塩吹	Ö O	//
破網を防止し得ずと認めたり尙夏網漏斗及釈上り設計に誤算あり之が改善につぎ指導南 漁場後方沖合に岩礁あり調査せし處岩礁は網に極めて接近で形狀荒く高さも三尋余り	方村 港 地 先 四	鰤 落網	網代	売 九	//
先 て荒からず落網とする時は全然支障無しこ認めたり 十余年前大敷網敷設中常に破網せしとの事なるを以て調査せし處破網原因たる	下飲料地	鰤 落網	浮水	元	//
に岩礁なきこと判然せり 陸岸全部岩石なるため沖合海底にも岩石散在せるに非ずやを調査せし處底質泥	<u>稍</u> 仝	鰛小台網	中飯	"	//
一型落網の敷設は可能なりと認めたるが岩礁附近は相當の傾斜ありて四尋に及べ 漁塲後面と大岩礁長右衞門瀬あり之が海岖に於ける狀態を調査せし處底部に到	上飯村地先	落雜網魚	阿母下	四四	#
質砂にして岩礁なく漁具敷設に支障なしと認めたり。 新漁塲なるが漁塲附近に岩礁ありとの懸念ありたるを以て水深二六尋の處を調	笠砂村地 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	鰤落網	大黑瀬	九	//
の價値なきものと認めたり尙潮流急なるため他に適當なる漁場を撰定の外なし前年度繰網毎に破網せりとの事なりしを以て調査せし虞海底一帶荒き岩礁にして	仝	仝	田尻	=======================================	,
の小台網二統を廢し雑魚落網一統を以てするを得策と認めたり漁場主要位置に岩礁あり調査せし處岩礁は孤立して大ならざるも高き約六尋余りあり從		鰛小台鄉	荒崎	=	/
礁の前方約二〇〇間の處を新셾塲として撰定せり 鰤落網新漁場撰定のため調査せし處漁塲附近の岩礁は極めて荒く高さ約八尺あ	佐多村地先	鰤 落 網	竹之浦	ō	/
元 誤算ありて海底に大間隊ありて直に修理せしめしに翌日島鰺の大漁ありたり附近の各漁塲に比して著しく漁獲少なきを以て漁具敷設の於態を調査せし處	高山町地先	☆	東泊	入	"

定置漁業の改善

關係を有するも其の漁具は舊式の小台網大敷網义は大謀網多く目的魚の漁獲及經費の点に於て大なる欠点を有し漁獲の豊魚常ならざるを以て特 肝屬郡南東部甑列島及南薩西薩方面に好漁場多く年に依り消長あるも年に六十万圓內外の漁獲を舉げ之が漁業の盛衰は直接漁村の經濟に至大の 趣 旨 本縣沿岸は海岸線の長きこと全國第二位に在り加之概ね山高く岸深にして大小の灣漁多く茲を以て鰤及鰛大敷網漁塲の適地多く就中

種の漁塲を除き在來網に比し漁獲率大にして最も經濟的なる落網を普及せしめて實置漁業の改善競達を阘らむがため之が指導に從事したるが此

定置漁業改善指導

至自	全自	至白	孕 自	 至自	学自	全自	
+	十年年	至自 仝	至自 仝		九年	全九 年	指
二二			B.1.	1. (.	+	+	導
月月	月月	++	月十二二	++ 	ナニ 月月	二 ^月 十	月
月 月 十 五八	五十	二月五	月 十	月月 末十	77	++	,,
日日	八日日	日日	日日	五日日	九二日日	 日日	Ħ
		<u> </u>	海—	場濱	場二	荒	
山山	瀬尾流	尻	藏漁	別用	本松	垣漁	漁場名
漁場	漁 場	漁 塲	塲			塲	名
下薩	下產	額揖 娃宿	內肝 之屬	内肝 之屬	內肝 之屬	內肝 之屬	魚
村郡地	村郡	村郡地	浦郡町	祖郡	浦郡町	浦郡町	場位
先	地 先	先	地	地	地	地先	位置
海し本	をし本	沖特は中本		<u> </u>	<u>先</u> 人し大本	て側群本	
深も漁 地本場	なも漁せの場	三に充型漁 〇本分落場	深人漁 地位場	深設る漁 地位を場	網前敷漁後項網場	充張を漁 分り逸場	
二年は	りには	尋漁研網は	二置は	三置以は	成同よは	に繰しは考網多數	
三度下	海し下深て甑	上場究に前 台は指變年	七の癖 零指始	一をて内	良作大之	慮要に年	
沖落島 二網東	地本島 三年東	三鰮導更度ニッサ敷初	沖導等ニをの	尋來年浦 沖の度 <i>灣</i>	好業謀浦 なの網灣	せ領失前りに敗鰤	
四を岸	二度岸幕は南	尋廻り入め 下遊 れて	八な漁	三後よの 三方り前	り全に内 部轉段	海至に大深る皈謀	指
乘で部	冲從部	台相 に鯣	五りあ	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	を向も	地全せ網	
上敷に	三來に	○に せ網	尋り經	潯よを口	指	尋業本以	
三れし二に過	零大し 側謀極	毒多 しを 非以	側長さ	乗り以に 上前て放し り方敷し	り損あ	沖に年て 三つ再引	
海決去 函す十	の網の長にて	上を 海て 6以 底試	 0)	り方敷し 四地入毎	海せり深さ潮	尋き調績 乘實査き	導
の依余	一返古	三て は騒	五。望	○庁れ年	地ス流	上地の三り指上ケ	
大 て な 散 、 五 計業	七しき	〇凾 極經 毒網 め管	幕によ	暴にの鰤	三漁緩	兲導鰤年	
五計業	尋を史 附を	函は てせ の十 急し	りて	の更め謀 大敷前網	尋な波 沖る浪	尋せ落間	
幕網し地も	す 有 るし	大二 傾も	中型	さ設項を六しの以	三が穏四本に	網殊を營 のに以せ	要
仕の	た鰤	三綿 にに	大謀	五好如て	尋年し	大浮でし	
立に等し	め大 網敷	五糸 しし 尋網 てて	槑 網	毒成く經 績一管	乘度て 上は極	六並入急	
作て 業往	地網 仕乂	と地 漁本せを 網年	を 以	を切し 塞の來	り進め 四んて	五にれ潮	
全時	立は	り使 設度	を以て敷	げ作り つ業た	〇で古 奏落き	垣に為荒 網關一浪	項
部鰤の大	並大に謀	用 計はせ 並雑	設	ゝをる	凾網歷	のし切に	
指數導網	側網 張に	りに魚海に魚	設につ	あ實が り地近	のを史 大以を	長てのてされ設常	
をを	りの連	深 立主	き漁	指年	さて有六敷す	さ一八〇日は急潮には急潮に	
な以 せて	實年	口'的	網	せ漁	五人數	○潮地游	
り経	地經 指營	二にと	化立	りと 殊な	尋れ年 とに前	零にのせ な對仕し	
4	導せ	幕 荒る	<u> </u>	にり	す決論	りし立魚	

十年 二月六日 津代漁場 所感都 本漁場も内之浦灣の中央に位ひ最も古き歴史を有す數年前鰤大敷網を醸して大謀網を以て敷設せり然るに附近各漁場に於ける落網の好成議 中一月下旬大謀網を以て敷設せり然るに附近各漁場に於ける落網の好成議 中一月下旬大謀網を以て敷設せり然るに附近各漁場に於ける落網の好成議 中一月下旬大謀網を以て敷設せり然るに附近各漁場に於ける落網の好成議 中一月下旬大謀網を以て敷設せり然るに附近各漁場に於ける落網の好成議 中一月下旬大謀網を以て敷設せり然るに附近各漁場に於ける落網の好成議 中一月下旬大謀網を以て敷設せり然るに附近各漁場に於ける落網の好成議 中一月下旬大謀網を以て敷設せり然るに附近各漁場に於ける落網の好成議 中一月下旬大謀網を以て敷設せり然るに附近各漁場に於ける落網の好成議 中一月下旬大謀網を以て敷設せり然るに附近各漁場に於ける落網の好成議 中漁場は解するため其の補修に當り羽口網の仕立を指導せり 本漁場と解するため其の補修に當り羽口網の仕立を指導せり 本漁場と は 中一月下旬大謀網を以て敷設せり然るに附近各漁場に於ける落網の好成議 中一月下旬大謀網を以て敷設せり然るに附近各漁場に於ける落網の好成議 中海 大東網を以て敷設すり 大き六八零とせり 本漁場とは 大川漁場 中海 大東網を以て敷設すり 大き二を流失する 大山 大山 大山 大山 大山 大山 大山 大山 大山 大山 大山 大山 大山			
十年 二月六日 津代漁場 内之浦町地先 經營し本年も十一月下旬大謀網を以て敷設せり然るに附近各漁場に於ける落網の好成 一尋上台三八等下台三三尋乘上り網の破別大にして設計に當りては充分研究考慮せらに於ける落門の長さ一七〇尋を一〇尋婚し全長一八〇尋の落網に世の治さいにいた。 本漁場は觸落網を敷入中三月十六日夜の荒天にて破網し乗上り及運動場網地の仕立を指導入網ー 本漁場は解し、一旦、大謀網側の長さ一七〇尋を一〇尋婚し全長一八〇尋の落網にせり海深羽口三一尋正台三八等下台三三尋乘上り四二尋凾の大さ六八尋とせり 本漁場は觸落網を敷入中三月十六日夜の荒天にて破網し乗上り及運動場網地の仕立を指導入網ー 本漁場は解し、一旦、大談網を到て、一旦、大道の、一旦、大道の、一旦、大道の、一旦、大道の、一旦、大道の、一旦、大道の、一旦、大道の、一旦、大道の、一旦、大道の、一旦、大道の、一旦、大道の、一旦、大道の、一旦、大道の、一旦、大道の、一旦、大道の、大道の、大道の、大道の、大道の、大道の、大道の、大道の、大道の、大道の	//	孕自	
年 二月六日 津代漁場 下崎郡 本漁場は内之浦灣の中央に位ひ最も古き歴史を有す數年前鰤大敷網を廢して大謀網を では、		==	
大川漁場 本漁場は内之浦灣の中央に位ひ最も古き歴史を有す數年前鰤大敷網を廢して大謀網を出た、 大川漁場 「大川漁場 本漁場は鰯落網に敷入中三月十六日 本漁場は「大謀網側の長さ 「七〇尋を「○尋増し全長」八〇尋の落網に営りては充分研究考慮せん。 本漁場は鰯落網を敷入中三月十六日夜の荒天にて破網し乗上り及運動場の網地を部では、 本漁場は鰯落網を敷入中三月十六日夜の荒天にて破網し乗上り及運動場の網地を部では、 本漁場は鰯落網を敷入中三月十六日夜の荒天にて破網し乗上り及運動場の網地を部では、 本漁場は鰯落網を敷入中三月十六日夜の荒天にて破網し乗上り及運動場の網地を部では、 本漁場は鰯落網を敷入中三月十六日夜の荒天にて破網し乗上り及運動場の網地を部では、 本漁場は鰯落網を敷入中三月十六日夜の荒天にて破網し乗上り及運動場の網地を部では、 大川漁場 本漁場は「大談網を上で入事でとなり現在の浮子側を地に寄せ成るべき地側を沖に出ざ、 本漁場は「大談網を上の大談網を以て敷設せり然るに附近各漁場に於ける落網の好成が一番をでは、 大川漁場 本漁場は内之浦灣の中央に位ひ最も古き歴史を有す敷年前鰤大敷網を廃して大謀網をご月十二日 本漁場に対し、 本漁場は内之浦灣の中央に位び最も古き歴史を有す敷年前鰤大敷網を廃して大謀網を			_年
大川漁場 本漁場は南本網の中央に位ひ最も古き歴史を有す數年前鰤大敷網を廢して大謀網を 本漁場は鰯落網に変更することとなり現在の浮子側の破別し乗上り網を破損し乗上りの約五 本漁場は鰯落網を敷入中三月十六日夜の荒天にて破網し乗上り及運動場の網地全部を にし大謀網側の長さ一七〇尋を一〇尋増し全長一八〇尋の落網にせり海深羽口三一尋 にし大謀網側の長さ一七〇尋を一〇尋増し全長一八〇尋の落網にせり海深羽口三一尋 でしため破損せる浮子側の修理並に改造薬上り網の改良運動場網地の仕立を指導入網 本漁場は鰯落網を敷入中三月十六日夜の荒天にて破網し乗上り及運動場の網地全部を が一切の指導をなせり 本漁場は鰯落網を敷入中三月十六日夜の荒天にて破網し乗上り及運動場の網地全部を 本漁場は鰯落網を敷入中三月十六日夜の荒天にて破網し乗上り及運動場の網地全部を が一切の指導をなせり 本漁場は鰯落網を敷入中三月十六日夜の荒天にて破網し乗上り及運動場の網地全部を 本漁場は鰯落網を敷入中三月十六日夜の荒天にて破網し乗上り及運動場の網地全部を が一切の指導をなせり 本漁場は鰯落網を敷入中三月十六日夜の荒天にて破網し乗上り及運動場の網地全部を が一切の指導をなせり 本漁場は鰯落網を敷入中三月十六日夜の荒天にて破網し乗上り及運動場の網地全部を が一切の指導をなせり 本漁場は鰯落網を敷入中三月十六日夜の荒天にて破網し乗上り及運動場の網地全部を 本漁場は鰯落網を敷入中三月十六日夜の荒天にて破網し乗上り及運動場の網地全部を 本漁場は鰯落網を敷入中三月十六日夜の荒天にて破網し乗上りの約五			
大川漁場 本漁場は内之浦灣の中央に位ひ最も古き歴史を有す數年前鰤大敷網を廢して大謀網を打造、 本漁場は内之浦灣の中央に位ひ最も古き歴史を有す數年前鰤大敷網を廢して大謀網を 本漁場は内之浦灣の中央に位ひ最も古き歴史を有す數年前鰤大敷網を廢して大謀網を 本漁場は内之浦灣の中央に位ひ最も古き歴史を有す数年前鰤大敷網を廢して大謀網を 本漁場は内之浦灣の中央に位ひ最も古き歴史を有す数年前鰤大敷網を廢して大謀網を 本漁場は内之浦灣の中央に位ひ最も古き歴史を有す数年前鰤大敷網を廢して大謀網を 本漁場は内之浦灣の中央に位ひ最も古き歴史を有す数年前鰤大敷網を廢して大謀網を 本漁場は内之浦灣の中央に位ひ最も古き歴史を有す数年前鰤大敷網を廢して大謀網を 本漁場は内之浦灣の中央に位ひ最も古き歴史を有す数年前鰤大敷網を 本漁場は内之浦灣の中央に位ひ最も古き歴史を有す数年前鰤大敷網を 本漁場は内之浦灣の中央に位ひ最も古き歴史を有す数年前鰤大敷網を 本漁場は内之浦灣の中央に位ひ最も古き歴史を有す数年前鰤大敷網を 本漁場は内之浦灣の中央に位ひ最も古き歴史を有す数年前鰤大敷網を 本漁場は内之浦灣の中央に位び最も古き歴史を有す数年前鰤大敷網を 本漁場は内之浦灣の中央に位ひ最も古き歴史を有す数年前鰤大敷網を 本漁場は内之浦灣の中央に位ひ最も古き歴史を有す数年前鰤大敷網を 本漁場は内之浦灣の中央に位ひ最も古き歴史を有す数年前鰤大敷網を 本漁場は内土をおよりには 本漁場は内土をおまりには 本漁場は内土をおまりには 本漁場は 本漁は 本漁場は 本漁場は 本漁場は 本漁場は 本漁は 本漁場は 本漁場は 本漁場は 本漁場は 本漁は 本漁場は 本漁は 本漁場は 本漁は 本漁は 本漁は 本漁場は 本漁場は 本漁場は 本漁場は 本漁は 本漁場は 本漁場は 本漁は 本漁場は 本漁は 本漁場は 本漁は 本漁は 本漁は 本漁は 本漁は 本漁は 本漁場は 本漁場は 本漁は		六九	十月 三六
川漁場 本漁場は内之浦灣の中央に位ひ最も古き歴史を有す數年前鰤大敷網を廢して大謀網を研究者慮せるが一切の指導をなせり 本漁場は觸落網に敷入中三月十六日夜の荒天にて破網し乗上り飛を神に出ざ、 本漁場は觸落網を敷入中三月十六日夜の荒天にて破網し乗上り及運動場網地の仕立を指導入網を対ける浮子側の慢更は海深を考慮して沖側を地に寄せ成るべき地側を沖に出ざ、 本漁場は鰯落網を敷入中三月十六日夜の荒天にて破網し乗上り及運動場の網地全部をはしためなりでは、一幕上台三八等下台三三等乗上り四二等画の大さ六八尋とせり 本漁場は鰯落網に敷更することとなり現在の浮子側の使消たにして設計に置りては充分研究考慮せせしため破損せる浮子側の修理並に改造薬上り網の改良運動場網地の仕立を指導入網を連げ、			日日
漁場 本漁場は内之浦灣の中央に位ひ最も古き歴史を有す數年前鰤大敷網を廢して大謀網を別の中央に位ひ最も古き歴史を有す數年前鰤大敷網を廢して大謀網を割り、	大川		
本漁場は内之浦灣の中央に位ひ最も古き歴史を有す數年前鰤大敷網を廢して大謀網を好力、 本漁場は内之浦灣の中央に位ひ最も古き歴史を有す數年前鰤大敷網を廢して大謀網を破ける済子側の修理並に改造薬上り網の改良運動場網地の仕立を指導入網を対した。 本漁場は 日常 では 一部 上台三八等下台三三等 東上り四二等 国の大き六八零とせり 一部 上台三八等下台三三等 東上り四二等 国の大き六八零とせり 一部 上台三八等下台三三等 東上り四二等 国の大き六八零とせり 一部 上台三八等下台三三等 東上り四二等 国の大き六八零とせり 一部 上台三八等下台三三等 東上り四二 国 国の大き六八零とせり 一部 上台三八等下台三三等 東上り四二 国 国の大き六八零とせり 一部 上台三八等下台三三等 東上り四二 国 国の大き六八零とせり 一部 上台三八等下台三三等 東上り四二 国 国 の 大き六八零とせり 一本漁場 は 国 落網 で 東上の 大き 一部 と は に か に り が 一切 の 指導をな せ り で は た か に か に り が 一切 の 指導をな せ り で は で が 上の に で が 一切 の 指導を な と な り 現在の 浮子側を 沖 合に て 直に 巻 更 作業 を な し ひ 良 に 决 が 一切 の 指導を な と な り 現在の 洋子側を 沖 合に で は に か と が 一切 の 指導 と な り に ま り に す と が 一切 の 指導 と な り に ま り に か と が 一切 の と で が と が 上の が こ の に ま り に か と が こ の に ま り に か と が こ の に ま り に か と が こ の に ま り に か と が こ の に ま り に か と が こ の に ま り に か と が こ の に ま り に か と が こ の に か と が こ の に か と が こ の に か と が こ の に か と が こ の に か と が こ の に か と が こ の に か と が こ の に か と が こ の に か と が こ の に か と が こ の に か と が こ の に か と が こ の に か と が こ の に か と が こ の に か と が こ の に か に か と い は に か と か と が と が こ の に か と が こ の に か と が こ の に か と が こ の に か と が こ の に か と が こ の に か と が こ の に か と が こ の に か と が こ の に か と が こ の に か こ の に か と が こ の に か と が こ の に か と が こ の に か と が こ の に か と が こ の に か と が こ の に か と が こ の に が と が こ の に か と が こ の に が こ の に か と が こ の に が こ の に が こ の に が こ の に か と が こ の に が こ の に が こ の に か と が こ の に か に か に か に か に か に か に か に か に か に	漁	Ш	漁
郡地先 経營し本年も十一月下旬大謀網を以て敷設せり然るに附近各漁場に於ける落網の好成市町地先 経營し本年も十一月下旬大謀網を以て敷設せり然るに附近各漁場に於ける落網の母立ととなり現在の浮子側を地に寄せ成るべき地側を沖に出ざ、一部上台三八尋下台三三尋乘上り四二霉菌の大さ六八尋とせり一尋上台三八尋下台三三尋乘上り四二霉菌の大さ六八尋とせり一つ。 本漁場は鰯落網を敷入中三月十六日夜の荒天にて破網し乗上り及運動場網地の仕立を指導入網郡 本漁場は鰯落網を敷入中三月十六日夜の荒天にて破網し乗上り及運動場の網地全部をが一切の指導をなせり 参東上り四二霉菌の大さ六八尋とせり 本漁場は鰯落網を敷入中三月十六日夜の荒天にて破網し乗上り及運動場の組め全部を かたり おり は	1	題指	內肝
本漁場は内之浦灣の中央に位ひ最も古き歴史を有す數年前鰤大敷網を廢して大謀網を以て敷設せり然るに附近各漁場に於ける溶子側の修理並に改造乘上り網の改善では充分研究考慮せん。本漁場は觸落網を敷入中三月十六日夜の荒天にて破網し乗上り及運動場網地の仕立を指導入網にした。大謀網側の長さ一七〇尋を一〇尋増し全長一八〇尋の落網に登更作業をなし改良に決が一切の指導をなせりを重は海深を考慮して沖側を地に寄せ成るべき地側を沖に出ざいまり、場合に於ける溶子側の修理がに改造を一〇尋増し全長一八〇尋の落網にせり海深羽口三一尋と台三八尋下台三三尋乘上り四二尋凾の大さ六八尋とせり本漁場は鰯落網に變更することとなり現在の浮子側を沖合にて直に變更作業をなし改良に決が一切の指導をなせり。		村郡	浦郡
三を流失せるため其の補修に當り羽口網の仕立を指導せり 三を流失せるため其の補修に當り羽口網の仕立を指導せり 三を流失せるため其の補修に當り羽口網の仕立を指導せり 三を流失せるため其の補修に當り羽口網の仕立を指導をはり 本漁場は觸落網を敷入中三月十六日夜の荒天にて破網し乗上り及運動場の網地全部を にし大謀網側の長さ一七〇尋を一〇尋増し全長一八〇尋の落網ミせり海深羽口三一尋 にし大謀網側の長さ一七〇尋を一〇尋増し全長一八〇尋の落網ミせり海深羽口三一尋 でしため破損せる浮子側の修理並に改造薬にして設計に當りては充分研究考慮せ が一切の指導をなせり 本漁場は鰯落網を敷入中三月十六日夜の荒天にて破網し乗上り及運動場の網地全部を 本漁場は鰯落網を敷入中三月十六日夜の荒天にて破網し乗上り及運動場の網地全部を 本漁場は鰯落網を敷入中三月十六日夜の荒天にで破網し乗上り を油場しならにて直に嫌更作業をなし改良に决 が一切の指導をなせり 本漁場は鰯落網を敷入中三月十六日夜の荒天にて破網し乗上り 本漁場は鰯落網を敷入中三月十六日夜の荒天にで破網し乗上り 本漁場は鰯落網を敷入中三月十六日夜の荒天にで破網し乗上り 本漁場は鰯落網を敷入中三月十六日夜の荒天にで破網し乗上り 本漁場は鰯落網を敷入中三月十六日夜の荒天にで破網し乗上り 本漁場は鰯落網を敷入中三月十六日夜の荒天にで破網し乗上り 本漁場は鰯落網を敷入中三月十六日夜の荒天にで破網し乗上り 本漁場は鰯落網を敷入中三月十六日夜の荒天にで破網し乗上り 本漁場は鰯落網を敷入中三月十六日夜の荒天にで破網し乗上り 本漁場は一大は、 本漁場は、 本漁場は、 本漁場は、 本漁場は、 本漁場は、 本漁場は、 本漁場は、 本漁場は、 本漁場は、 本漁場は、 本漁場は、 本漁場は、 本漁場に、 大きなり、 本漁場に、 本漁場に、 大きなと、 本漁場に、 大きなり、 本漁場に、 大きなり、 本漁場に、 大きなり、 本漁場に、 大きなり、 本漁場に、 大きなり、 本漁場に、 大きなり、 本漁場に、 大きなり、 本漁場に、 大きなり、 本漁場に、 大きなり、 本漁場に、 大きなり、 本漁場と、 本漁場に、 大きなり、 本漁場と、 大きなり、 本漁場に、 大きなり、 本漁場と、 本漁場に、 大きなり、			地
流失せるため其の補修に當り羽口網の仕立を指導せり 憲とは、一月下旬大謀網を以て敷設せり然るに附近各漁場に於ける落網の好五、 となり現在の浮子側の砂理並に改造薬上り網の改良運動場網地の仕立を指導入網 場は間當深海なるのみならず海底の傾斜大にして設計に當りては充分研究考慮 大談網側の長さ「七〇尋を一〇尋增し全長一八〇尋の落網ミせり海深羽口三一尋 大談網側の長さ「七〇尋を一〇尋增し全長一八〇尋の落網ミせり海深羽口三一尋 上台三八零下台三三尋乘上り四二霉菌の大さ六八尋とせり 上台三八零下台三三尋乘上り四二霉菌の大さ六八尋とせり 上台三八零下台三三尋乘上り四二霉菌の大さ六八尋とせり 上台三八零下台三三尋乘上り四二霉菌の大さ六八尋とせり 上台三八零下台三三尋乘上り四二霉菌の大さ六八尋とせり 上台三八零下台三三尋乘上り四二霉菌の大さ六八尋とせり 上台三八零下台三三尋乘上り四二霉菌の大さ六八尋とせり 上台三八零下台三三尋乘上り四二霉菌の大さ六八尋とせり 上台三八零下台三三尋乘上り四三零菌の大さ六八尋とせり 上台三八零下台三三尋乘上り四二零菌の大さ六八尋とせり 上台三八零下台三三尋乗上の一一本 上台三八零下台一一一本 上台三八零下台一一一本 上台三八零下台一一一本 上台三八零下台一一一本 上台三八零下台一一一本 上台三八零下台一一一本 上台三八零下台一一一本 上台三八零下台一一一本 上台三八零下台一一一本 上台三八零下台一一一本 上台三八零下台一一一本 上台三八零下台 上台二八零下台 上台二八零下台 上台二八零下台 上台二八零下台 上台二八零下台 上台二八零下名 上台二八零下台 上台二八零下台 上台二八零下台 上台二八零下台 上一一本 上一一一本 上一一本 上一一本 上一一本 上一一本 上一本 上			一に合本が鑑經本
失せるため其の補修に當り羽口網の仕立を指導せり 失せるため其の補修に當り羽口網の仕立を指導せり 長世るため其の補修に當り羽口網の仕立を指導せり 大せるため其の補修に當り羽口網の仕立を指導をなせり の指導をなせり の指導をなせり の指導をなせり の指導をなせり の指導をなせり の指導をなせり の指導をなせり の指導をなせり のが現在の浮子側のを理立に改造薬上り網の政良運動場網地の仕立を指導入網は鰯落網に敷入中三月十六日夜の荒天にて破網し乗とり及運動場の網地を部では間違深海なるのみならず海底の傾斜大にして設計に當りては充分研究考慮せける浮子側の變更は海深を考慮して沖側を地に寄せ成るべき地側を冲に出ざい。 は鰯落網に取入中三月十六日夜の荒天にて破網し乗とり及運動場の地を部を は鰯落網に敷入中三月十六日夜の荒天にて破網し乗とり の指導をなせり の指導をなせり の指導をなせり の指導をなせり の指導をなせり の指導をなせり の指導をなせり の指導をなせり の指導をなせり の指導をなせり の指導をなせり のが、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	を漁 流塲		尋しに漁一み鶯漁 上大於塲切落し場
本の対し、 を関することとなり現在の浮子側を沖合にて、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 を対し、 でが、 でが、 でが、 でが、 でが、 でが、 でが、 でが	失も	めは	台謀けはの網本は
は、 の の の の の の の の の の の の の	る落	損落	八側浮當導變も之
の補修に當り羽口網の仕立を指導せり の補修に當り羽口網の仕立を指導せり の補修に當り羽口網の仕立を指導せり の補修に當り羽口網の仕立を指導せり の補修に當り羽口網の仕立を指導せり の補修に當り羽口網の仕立を指導す。 では一次 で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	めに	ろを	下長側海なす一灣
神修に當り羽口網の仕立を指導せり ととなり現在の浮子側を沖合にて政計に當りては充分研究考慮せるならず海底の傾斜大にして設計に當りては充分研究考慮せて、一等を一〇尋啥して沖側を地に寄せ放るべき地側を沖に出ざ、となり現在の浮子側を地に寄せ放るべき地側を沖に出ざ、上の事を一〇尋啥して沖側を地に寄せ放るべき地側を沖に出ざ、上の事を一〇尋啥して沖側を地に寄せ放るべき地側を沖に出ざ、上の本での表別を以て敷設せり然るに附近各漁場に於ける落網の好成の大謀網を以て敷設せり然るに附近各漁場に於ける落網の好成の大は一位の最も古き歴史を有す數年前鰤大敷網を廢して大謀網を及い位の最も古き歴史を有す數年前鰤大敷網を廢して大謀網を		浮敷 子人	台さのなせる月の三一變んりこ下中
はいい。 はいいでは、 はいでは、 は	補入	側中	三七更の と旬央
り羽口網の仕立を指導せり り羽口網の仕立を指導せり り羽口網の仕立を指導で乗上り網を破損し乗上りの約五 で、一〇本増し全長一八〇幕の落網に対り海深羽口三一幕 い四二韓國の大さ六八零とせり の一〇本増し全長一八〇幕の落網に対り海深羽口三一本 い四二韓國の大さ六八零とせり が四二韓國の大さ六八零とせり の荒天の急潮によりて乗上り級更作業をなし改良に决 り羽口網の仕立を指導する の荒天の急潮によりて乗上り の荒天の急潮によりて乗上り の荒天の急潮によりて乗上り の荒天の急潮によりて乗上り の荒天の急潮によりて乗上り の荒天の急潮によりて乗上り の荒天の急潮によりて乗上り の荒天の急潮によりて乗上り の荒天の急潮によりて乗上り の荒天の急潮によりて乗上り の荒天の急潮によりて乗上り の荒天の急潮によりて乗上り の荒天の急潮によりて でいた。 でいた。 でいた。 でいた。 でいた。 でいた。 でいた。 でいた。	に全	修月	乘蕁海な な謀位
口網の仕立を指導せり四網の仕立を指導せり四網の仕立を指導せりでの急潮によりて乗上り網を破損し乗上りの約五本の原子側を沖合にて直に嫌更作業をなし改良に決定の原子側を沖合にて直に嫌更作業をなし改良に決定の原子側を沖合にて直に嫌更作業をなし改良に決定の原子側を沖合にて直に嫌更作業をなし改良に決定の意潮によりて乗上り網を強いたが、一次の急潮によりで乗上り網を強力を対応をである。	りの	並六	りーかず 現を最
網の仕立を指導せり網の仕立を指導せりの急潮によりて乗上り網を強力してが関を沖合にて直に變更作業をなし改良に決整面の大さ六八尋とせり海深羽口三一尋響面の大さ六八尋とせり海深羽口三一尋響面の大さ六八尋とせり海深羽口三一尋響面の大さ六八尋とせり海深羽口三一尋響面の大さ六八尋とせりった。			二尋慮底 のて古
仕立を指導せり 仕立を指導せり 他立を指導せり 他立を指導せり 他立を指導せり 他立を指導せり 他立を指導せり 他立を指導せり 他立を指導せり 他立を指導せり 他立を指導せり 他立を指導せり 他立を指導せり 他立を指導を を を を を の 大さ 六八零とせり の 大さ 六八零とせり の 大さ 六八零とせり の 大さ 六八零とせり の 大さ 六八零とせり の 大さ 六八零とせり の 大さ 六八零とせり の 大さ 六八一零の 本網 の を 神に出ざ。 の 大さ 六八一零の を が の を が の で は の を も の を も の を も の を も の を も の を も の を も の を も の を も の を も の を も の も の も の を も の ら の ら の ら の ら の ら の ら の ら の ら の の の の の の の の の の の の の	網の		尋増しの 浮敷き
有す數年前鰤大敷網を廃して大謀網を にして設計に営りては充分研究考慮せ にして設計に営りては充分研究考慮せ で地に寄せ成るべき地側を神に出ざ、 一八〇尋の落網ごせり海深羽口三一尋 で六八尋とせり で六八尋とせり でおいて設計に営りては充分研究考慮せ で大八零とせり で大八零とせり で大八零とせり で大八零とせり で大八零とせり で大八零とせり で大八零とせり で大八零とせり で大八零とせり で大八零とせり で大八零とせり で大八零とせり で大八零とせり で大八零とせり で大ける落網の好成 がるに附近各漁場に於ける落網の好成 がるに対し、 で大ける落網の好成	仕潮	上天	の全冲斜 側せ史
導せり 等せり で飛上り の本の落網ミせり海深羽口三一尋 で設計に當りては充分研究考慮せ で設計に當りては充分研究考慮せ の本の落網ミせり海深羽口三一尋 で設計に當りては充分研究考慮せ の本の落網ミせり海深羽口三一尋 で乗上り及運動場網地の仕立を指導入網 で乗上り の本の落網に於ける落網の好成 で乗上り の本のを の本のを の本のを の本のを の本のを のを のを のを のを のを のを のを のを のを	をょ	網て	さーをに 沖然有
世り 東上り網を破損し乗上りの約五 東上り網を破損し乗上りの約五 東上り網を破損し乗上りの約五 東上り網を破損し乗上りの約五 東上り網を破損し乗上りの約五 東上り網を破損し乗上りの約五		改網	八〇にて にに數
新大敷網を破損し乗上りの約五 に置りては充分研究考慮せ を網ミせり海深羽口三一尋 を別の及運動場の網地を部で を別ののでは、 をなし改良に決 をなし改良に決 をなし改良に決 をなし改良に決			尋尋寄設 て附年 とのせ計 直近前
を破損し乗上りの約五網に於ける落網の好成 場に於ける落網の好成 りては充分研究考慮せ りでは充分研究考慮せ の仕立を指導入網 を破損し乗上りの約五		動上	せ落成に に各鰤
損し乗上りの約五 関し乗上りの約五 関し乗上りの約五 関し乗上りの約五	že	網及	こべり 更塲敷
乗 立の 深を分 なる落 なる を網 好神 の で と で で で で で で で で で で で で で で で で で	損	の動	り地は 業於を
上 を網 羽神研 し落れた り 指地 口に出考 良の好談 三出意 に対象 の 対象 三出意 に対象 の 対象 本せ 決成を			
の 導発 三出考 良の謀 約 入部 一ざ慮 に好網 五 網を 蕁、せ 決成を	Ŀ	を網	羽冲研 し落て
五 網を 蕁・せ 决成を	の	導全	三出考 良の謀
分 せ流 冲るり 定続以	Ħ.	網を	翠・セ 决成を
の し失 四像冲 之にて	分の	せ流し失	沖るり 定績以 四 <u>懐沖 之にて</u>

、布糊製造講習

出水郡西長島漁業組合の要請に依り布糊製造法につき講習を行へり

(一)講習場所

出水郡西長島城川內尋常髙等小學校

(二)講習期日

自八月十一日 至八月十三日 三日間

(三)受講生

三十九名

(四)講習の方法

講習生を二組に分け布糊製造の一般的概念並に實地指導を行へり 製造方法は簀付法に依り原藻の壊拔。洗滌。簀付。脫色融合。乾燥の各作業につき實地講習を行へり。

一、雲丹製造講習

つき左配の通り講習を行へり。

本縣には紫雲騰の外に馬葉雲膽も相當棲息するを以つて先進地福井縣より實業教師を聘し地元漁業組合及び地元郡水産會と提携して雲丹製造に

三、鰮製造指導

縣下に多産する鰛の利用法普及のため阿久根町製造場に於て十二月七日よ6 十九日迄附近當業者を集め左記の通り製造情導をなし其の製品は年 末鹿兒島市に於て開催せる縣水産會主催の水産物即寶品評會に出品し好評を博せり。

(イ) 鰮 栗 漬

(1)原料

原料に供じたる鰛は阿久根町地先にて漁獲せられたる大羽鰛にして比較的脂肪多けれど鮮度頗る良好にして大要左の如し。

,	
大	原
33 3	
魚品	料
	体
一 八 糎	長
	体
八 <u>糎</u>	周
	体
六〇瓦	重
	備
	考

(2)處理

劑を用ひ赤色及黃色に適宜着色し食酢を吸收せしめ之に辛子粉生薑少量を加へたる調味料を造り前記處理せる鰛と交互に橡中に漬け込み製了す り次に清水に入れ綺麗に洗滌して笊に取り揚げ水切りす、水切りしたるものは原料||| 瓩を食酢|||||||||立中に||||||||夜漬け込む。別に蒸煮したる栗を食用着色 製造場に運搬したる鰮は先づ頭を去り腹を少し割りて脊開とし脊骨内臓を去り母氏三度の食塊水に三時間浸漬し血拔をなすと同時に脂肪を取り去 (3)步 留

定置漁業の改善

原料四五瓩より製品一四瓩を得たり。

(4)生産費

	ō	_ 六_			,		計
	八〇		六 〇		Ξ	夫	人
	<u>유</u>				,,	色劑	着
	110				N	子粉	
	<u>=</u>				少量	薹	生
	四五		五五		三立	酢	食
	六〇		10		六立		栗
,	也	<u>=</u>			四五粁		鰛
備	額	a	僧	單	數量	名	品

(口)鰛 丸 乾

(1)原料

原料は阿久根町地先にて八田網に依り漁獲せられたる中羽鰮を用ふ。

	les.
中	原
323	
細	料
	体
- 五 梅	長
	体
七糎	周
	体
四 ○ 瓦	重
	備
	考

(2)處理

鰮十五瓩に對し二等塘四立の割合に一時間撒塘とし充分塘味浸入したる時串刺ミし別に清水を入れたる橡中にて奇麗に洗滌す。洗滌したるもの は乾台に掛け日乾製了す。

(3)步留

九二

(4)生産費

	三 大 —	 五						計
	8	<u>六</u>	<u></u>		101		夫	人
	프 <u>大</u>			-	三立		鹽	食
	8	八			 三 ○ 班	•		盤
備考	額	金	價	單	量	數	名	品

(ハ)鰛 櫻 乾

(1)原料

前記鰮 丸乾と同樣阿久根町地先にて漁獲せられたるものにして鰮の大さ鮮度共に前記鰮 丸乾と同樣なり。

(2)處理

其他汚物を除去し奇麗に洗滌水切りす、次に水切りしたる鰛は別表の如き調味料に一夜浸漬し充分調味液を魚体内に浸入せしむ。調味液に浸漬 したるものは最初皮部を下方にして簑上に並べ次に肉面と皮面とを交互に日乾製造す。 製造場に運搬せる中羽鰮は直ちに母氏二度の食塩水中に入れ汚物を除き調理台上にて頭、内藏を除き腹開きとし脊骨を除去、清水にて再げ血液

(3)步 留

		三正			一二三瓩		一七七瓩		4
考	備	量	品	製	內臟後	除骨、	料	原	生

・)誘明米の配合

	醬
一、八立	油
	砂
七五〇日	糖
七五〇瓦上記ノモノ	備
シムタ金中ニテ煮熟	考

定置漁業の改善

~5 生 產 費

鰛

七七瓩

8

00

品

名

數

量

單

價

金

額

備

考

計 人 譋 夫 味 償 料 **三**

四、

煮干

鯷製造並に煮干釜改良指導

煮干釜改良	煮干銀製造	指導 項目
仝	至三月二十九日	期日
소	熊毛郡西表町田	場
仝	浦田漁業組合員	受講者
基式ノ平釜ヲ角釜ニ變更指導		備考

本年度中に當業者の申請に依り、養魚塲の設計、

實地指導义は講習をなせる所左記の如し。

西

、養鯉池設計並に指導

養鯉池設計

養鰻池設計

揖宿郡指宿町十二町高之原

出水郡阿久根町西目字櫨

出水郡阿久根町大川尻無

鹿若鶴爐

小

義可右與

子.

實地指導

養池鯉設計

隆摩郡高城村麓

出水郡阿久根町山下尾崎

養鯉池設計並に指導

出水郡阿久根町

實地指導

出水郡出水町下町

柴新入財 入來村立 中 來部 元 福 村 町 中木材 公民學 築 源 市常 組 四 組 吉郎合合校藏義明成門吉

養鯉金魚池設計 養鯉講話

鹿兒島市田上町

養鯉池設計

鹿兒島市宇宿町

養鯉池設計並に指導 養鯉池設計並に指導

囎唹郡財部町 **薩摩郡入來村**

薩摩郡入來村

九四

昭和十一年三月廿五日印刷 昭和十一年三月三十日發行

鹿兒島縣水產試驗場

鹿見島市西千石町一一七番地 印刷所 拿 全文 尚 堂 印刷 所 電話 一 大 四 三 爾 振替熊本三 〇六 二 靍